

【9L1L201】外国語コミュニケーション		教養科目		1年前期		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	小椋 博文					
資格・制限等	幼児教育学科 卒業必修、歯科衛生学科 選択必修					
実務家教員	高等学校英語科教諭22年					
授業方法	ペアワークを中心とした授業で、意味を理解し、音読につなげます。また、授業後にはGoogle Classroomを通じて、学習した単語ファイルの配信、また、読んだテキストの内容についての意見とその理由について提出します。					
到達目標	知識・理解	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどに関する基礎的・基本的事項を理解している。				
	思考・判断・表現	日常的な話題や社会的な問題について、簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり、伝えたりすることができる。				
	技能	聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによるコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けている。				
	関心・意欲・態度	英語を用いたコミュニケーション能力の向上に意欲を持ち、主体的に活動に取り組むことができる。				
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	英語は実技科目です。実際に聞くことで聞く力が身に付き、読むことで読む能力が身に付き、書くことで書く力が身に付き、話すことで話す力が身に付きます。興味深い題材を通じて、意味理解したテキストを暗唱できるまで何度も音読することによって、英語の発信力に繋がる基礎力の習得を目指します。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	定期試験	25	25	-	-	50
	復習テスト	25	-	-	-	25
	提出課題	-	5	10	5	20
	受講態度	-	-	-	5	5
合計(点)	50	30	10	10	100	
評価の特記事項	定期試験、前の授業の理解度を測る復習テスト、学習したテーマに関する自分の意見とその理由の提出課題、さらに授業中の活動への取り組み状況を総合的に判断し評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、定期試験の受験資格はありません。					
ICT活用	Google Classroomを活用して、教材の配信や課題の提出を行います。					
アクティブラーニングの活用	ペアワーク、意見の発信					
課題に対するフィードバック	復習テストは次回の授業で返却します。					
テキスト	『AMBITIONS Beginner 4 技能統合型で学ぶ英語コース：入門編』VELC研究会教材開発グループ 静哲人 望月正道 熊澤孝昭 金星堂(2,090円) ISBN:978-4-7647-4119-5					
参考書・教材						

内容	
実施回	授業内容・目標
1	Unit1: Cross-Cultural Understanding ・Listening Focus: 強く発音される語を聞き取る Reading Focus: 文の主語を見つける [課題(復習)] Unit1のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)
2	Unit2: Foods ・Listening Focus: 似た音に注意する(1)L&R Reading Focus: 文の動詞を見つける ・Unit1の復習テスト [課題(復習)] Unit2のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)
3	Unit3: Foreign Language Learning ・Listening Focus: 似た音に注意する(2) 2種類の「ア」 Reading Focus: 動詞の目的語を見つける ・Unit2の復習テスト [課題(復習)] Unit3のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)
4	Unit4: Sports ・Listening Focus: 似た音に注意する(3) 子音の直後に来るL&R Reading Focus: 補語を見つける ・Unit3の復習テスト [課題(復習)] Unit4のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)
5	Unit5: Fashion ・Listening Focus: 弱い助動詞を聞き取る Reading Focus: 何の代わりにかを見抜く(代名詞) ・Unit4の復習テスト [課題(復習)] Unit5のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)
6	Unit6: Living Things ・Listening Focus: イントネーションに注意して聞く Reading Focus: 不定詞を理解する ・Unit5の復習テスト [課題(復習)] Unit6のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)
7	Unit7: Art ・Listening Focus: 似た音に注意する(4)B&V Reading Focus: 動名詞を理解する ・Unit6の復習テスト [課題(復習)] Unit7のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)
8	Unit8: Global Issues ・Listening Focus: 弱い前置詞を聞き取る Reading Focus: 受動態を理解する ・Unit7の復習テスト [課題(復習)] Unit8のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)
9	Unit9: Japanese Culture ・Listening Focus: 消えるdを聞き取る Reading Focus: 比較(比較級・最上級)を理解する ・Unit8の復習テスト [課題(復習)] Unit9のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)

内容	
実施回	授業内容・目標
10	Unit10: Human Rights ・Listening Focus: 消えるtを聞き取る Reading Focus:後置修飾を見抜く ・Unit9の復習テスト [課題(復習)]Unit10のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び小テストのための復習(2h)
11	Unit11: Health & Medical Issues ・Listening Focus: 似た音に注意する(5)THとS Reading Focus:関係代名詞を見抜く ・Unit10の復習テスト [課題(復習)]Unit11のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)
12	Unit12: Environmental Issues ・Listening Focus: tで繋がる語句を聞き取る Reading Focus:andが繋ぐものを見抜く(並列1) ・Unit11の復習テスト [課題(復習)]Unit12のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)
13	Unit13: Economy & Industry ・Listening Focus: nで繋がる語句を聞き取る Reading Focus:butやorが繋ぐものを見抜く(並列2) ・Unit12の復習テスト [課題(復習)]Unit13のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)
14	Unit14: Legal Issues ・Listening Focus: 話し手の気持ちを聞き取る Reading Focus:文脈に合った意味を選ぶ(多義語) ・Unit13の復習テスト [課題(復習)]Unit14のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)
15	定期試験
時間外での学修	英語の学習で最も大切なのは復習です。意味理解したテキストを暗唱できるまで何度も音読して、復習テストに備えてください。また、毎回テキストのテーマについて自分の意見とその理由を発信することで、コミュニケーション能力の向上を目指しましょう。 【この科目で求める望ましい時間外での総学修時間：30時間】
受講学生へのメッセージ	質問や学習について相談したい人は、オフィスアワーとして授業終了後にA304(A号館3F)で受け付けます。それ以外の時間でも気軽に訪ねてきてください。

【9L1L202】外国語コミュニケーション		教養科目		1年後期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	小椋 博文						
資格・制限等	幼児教育学科 卒業必修、歯科衛生学科 選択必修						
実務家教員	高等学校英語科教諭22年						
授業方法	ペアワークを中心とした授業で、意味を理解し、音読につなげます。また、授業後にはGoogle Classroomを通じて、学習した単語ファイルの配信、また、読んだテキストの内容についての意見とその理由について提出します。						
到達目標	知識・理解	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどに関する基礎的・基本的事項を理解している。					
	思考・判断・表現	日常的な話題や社会的な話題について、簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり、伝えたりすることができる。					
	技能	聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによるコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けている。					
	関心・意欲・態度	英語を用いたコミュニケーション能力の向上に意欲を持ち、主体的に活動に取り組むことができる。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	英語は実技科目です。実際に聞くことで聞く力が身に付き、読むことで読む能力が身に付き、書くことで書く力が身に付き、話すことで話す力が身に付きます。外国語コミュニケーション より少し発展的な題材を扱いながら、英語の発信力の向上を目指します。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	定期試験		25	25	-	-	50
	復習テスト		25	-	-	-	25
	提出課題		-	5	10	5	20
	受講態度		-	-	-	5	5
	合計(点)		50	30	10	10	100
評価の特記事項	定期試験、前の授業の理解度を測る復習テスト、学習したテーマに関する自分の意見とその理由の提出課題、さらに授業中の活動への取り組み状況を総合的に判断し評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、定期試験の受験資格はありません。						
ICT活用	Google Classroomを活用して、教材の配信や課題の提出を行います。						
アクティブ・ラーニングの活用	ペアワーク、意見の発信						
課題に対するフィードバック	復習テストは次回の授業で返却します。						
テキスト	『AMBITIONS Elementary 4 技能統合型で学ぶ英語コース：初級編』VELC研究会教材開発グループ 静哲 人 望月正道 熊澤孝昭 金星堂(2,200円)ISBN:978-4-7647-4054-9						
参考書・教材							

内容	
実施回	授業内容・目標
1	Unit1: Cross-Cultural Understanding ・ Listening Focus: 強く発音される語を聞き取る ・ Reading Focus: 文の主語を見つける [課題(復習)] Unit1のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)
2	Unit2: Foods ・ Listening Focus: 語順のまま理解する ・ Reading Focus: 文の動詞を見つける ・ Unit1の復習テスト [課題(復習)] Unit2のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)
3	Unit3: Foreign Language Learning ・ Listening Focus: 消えるtとdを聞き取る ・ Reading Focus: 動詞の目的語を見つける ・ Unit2の復習テスト [課題(復習)] Unit3のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)
4	Unit4: Sports ・ Listening Focus: 似た音に注意して聞き取る ・ Reading Focus: 補語を見つける ・ Unit3の復習テスト [課題(復習)] Unit4のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)
5	Unit5: Fashion ・ Listening Focus: nでつながる語句を聞き取る ・ Reading Focus: 何の代わりかを見抜く(代名詞) ・ Unit4の復習テスト [課題(復習)] Unit5のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)
6	Unit6: Living Things ・ Listening Focus: 弱いcanを聞き取る ・ Reading Focus: 不定詞を理解する ・ Unit5の復習テスト [課題(復習)] Unit6のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)
7	Unit7: Art ・ Listening Focus: 話の展開を予測する ・ Reading Focus: 動名詞を理解する ・ Unit6の復習テスト [課題(復習)] Unit7のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)

内容	
実施回	授業内容・目標
8	Unit8: Global Issues <ul style="list-style-type: none"> ・Listening Focus: 強弱のリズムに慣れる ・Reading Focus: 受動態を理解する ・Unit7の復習テスト [課題(復習)] Unit8のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)
9	Unit9: Japanese Culture <ul style="list-style-type: none"> ・Listening Focus: tでつながる語句を聞き取る ・Reading Focus: 比較(同等比較・比較級・最上級)を理解する ・Unit8の復習テスト [課題(復習)] Unit9のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)
10	Unit10: Human Rights <ul style="list-style-type: none"> ・Listening Focus: lでつながる語句を聞き取る ・Reading Focus: 後置修飾を見抜く ・Unit9の復習テスト [課題(復習)] Unit10のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)
11	Unit11: Health & Medical Issues <ul style="list-style-type: none"> ・Listening Focus: 弱いofを聞き取る ・Reading Focus: 関係代名詞を見抜く ・Unit10の復習テスト [課題(復習)] Unit11のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)
12	Unit12: Environmental Issues <ul style="list-style-type: none"> ・Listening Focus: 対比による強調を理解する ・Reading Focus: andが繋ぐものを見抜く(並列1) ・Unit11の復習テスト [課題(復習)] Unit12のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)
13	Unit13: Economy & Industry <ul style="list-style-type: none"> ・Listening Focus: rでつながる語句を聞き取る ・Reading Focus: butやorが繋ぐものを見抜く(並列2) ・Unit12の復習テスト [課題(復習)] Unit13のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)
14	Unit14: Legal Issues <ul style="list-style-type: none"> ・Listening Focus: のみこまれるtnを聞き取る ・Reading Focus: 文脈に合った意味を選ぶ(多義語) ・Unit13の復習テスト [課題(復習)] Unit14のテーマに関する課題(意見と理由)の提出及び復習テストのための学習(2h)
15	定期試験
時間外での学修	英語の学習で最も大切なのは復習です。意味理解したテキストを暗唱できるまで何度も音読して、復習テストに備えてください。また、毎回テキストのテーマについて自分の意見とその理由を発信することで、コミュニケーション能力の向上を目指しましょう。 【この科目で求める望ましい時間外での総学修時間：30時間】
受講学生へのメッセージ	質問や学習について相談したい人は、オフィスアワーとして授業終了後にA304(A号館3F)で受け付けます。それ以外の時間でも気軽に訪ねてきてください。

【9L1L1031】国語表現		教養科目		1年前期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	西田 拓郎						
資格・制限等	歯科衛生学科 選択必修						
実務家教員	小中学校教員・36年						
授業方法	テキスト「大学生のための日本語表現トレーニング ドリル編」 /三省堂/橋本修・福嶋健伸・安部朋世〔編著〕を活用し、学習課題を解くことを通して、国語表現力を身に付ける。(説明的表現) ○自分の生活を俳句にして、日常生活にある感動を意欲的に語り合う。(文学的表現)						
到達目標	知識・理解	日本語の基本的な能力を修得する。					
	思考・判断・表現	課題や問題点および感動等を言葉で的確に捉え、思考を深める。					
	技能	確実な文章表現技術を身に付ける。					
	関心・意欲・態度	表現することによって日常生活を充実し楽しむことができる。					
授業内容	・日本語の基礎知識を学び、学生、社会人として必要な文章表現力を修得するための訓練を行う。そのためにテキストのステップ1で予習をする。授業では高等学校までの学習内容を深めながらステップ2に取り組む。ステップ3を復習で行い学習内容を深める。 ・日常の感動を俳句にして交流する。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	レポート		15	20	5	10	50
	受講態度		5	5	-	5	15
	発表(グループ発表含む)		10	15	5	5	35
	合計(点)		30	40	10	20	100
評価の特記事項	・レポートには2種類あります。ミニレポートはその時間の学修内容を端的にまとめるものです。その時間の授業についての感想でよろしい。課題レポートは提示した課題についてまとめるものです。 ・受講態度は、課題についての発表内容、発言内容で評価します。						
ICT活用	プレゼンテーションソフトを使ってレポートを発表したり、意見交換したりします。						
アクティブ・ラーニングの活用	・レポートを書いてその内容を発表する機会を全員が体験します。 ・日常の感動を俳句でとらえて交流する時間をもちます。						
課題に対するフィードバック	テキストの学修内容は授業内に発表や評価の時間を位置づけます。ミニレポートは、教員のコメントを添えて次の時間に振り返りをします。						
テキスト	『大学生のための日本語表現トレーニング ドリル編』橋本修・福嶋健伸・安部朋世〔編著〕 三省堂 (1,900円) ISBN:978-4-385-36327-1 テキストは必ず購入してください。						
参考書・教材	授業中に紹介します。						

内容	
実施回	授業内容・目標
1	ガイダンス 授業の進め方を知る。(日本語とは何かを考える。) [課題(予習)]テキストを概観して、学習の見通しを持つ。(2h) [課題(復習)]説明的文章と文学的文章について理解し、実際に書き残す。(2h)
2	・アカデミックワードと日常語(テキストp1~p5) ・定型表現 [課題(予習)](トレーニングシートp1~p4)の問題編に解答する。(2h) [課題(復習)]テキスト解説編「アカデミックワードと日常語」を熟読する。日本語の定型表現に親しむ。(2h)
3	・仮名遣い・送り仮名・句読点(テキストp6~p9) ・季語 [課題(予習)](トレーニングシートp5~p12)の問題編に解答する。(2h) [課題(復習)]テキスト解説編「仮名遣い・送り仮名・句読点」を熟読する。季語に親しむ。(2h)
4	・四字熟語・ことわざ・慣用句(テキストp10~p11) ・俳句創作 [課題(予習)](テキストp13~p16)の問題編に解答する。(2h) [課題(復習)]テキスト解説編「四字熟語・ことわざ・慣用句」を熟読する。俳句創作に親しむ。(2h)
5	・漢字の使い分け・見やすい表記(テキストp12~p15) ・選句 [課題(予習)](トレーニングシートp17~p22)の問題編に解答する。(2h) [課題(復習)]テキスト解説編「漢字の使い分け・見やすい表記」を熟読する。自分の好きな俳句を鑑賞する。(2h)
6	・敬語(テキストp16~p17) ・声に出して読む(披露) [課題(予習)](トレーニングシートp23~p26)の問題編に解答する。(2h) [課題(復習)]テキスト解説編「敬語」を熟読する。自分の好きな俳句の音韻やリズムを味わう。(2h)
7	・手紙・Eメール(テキストp18~p21) ・すぐれた表現を味わう(鑑賞) [課題(予習)](トレーニングシートp27~p34)の問題編に解答する。(2h) [課題(復習)]テキスト解説編「手紙・Eメール」を熟読する。自分の好きな俳句の鑑賞文を書く。(2h)
8	・あいまいな文・分かりやすい語順(テキストp22~p25) ・よさを語り合う(句会) [課題(予習)](トレーニングシートp27~p34)の問題編に解答する。(2h) [課題(復習)]テキスト解説編「あいまいな文・分かりやすい語順」を熟読する。相手のよさをスピーチする練習をする。(2h)
9	・長い分を分ける・分のねじれ(テキストp26~p29) ・よさを語り合う(句会) [課題(予習)](トレーニングシートp27~p34)の問題編に解答する。(2h) [課題(復習)]テキスト解説編「長い分を分ける・分のねじれ」を熟読する。相手のよさをスピーチする練習をする。(2h)

内容	
実施回	授業内容・目標
10	<ul style="list-style-type: none"> ・接続表現の使い方・結論を先に述べる(テキストp30~p33) ・自作を語る(スピーチ) [課題(予習)](トレーニングシ - トp45~p50)の問題編に解答する。(2h) [課題(復習)]テキスト解説編「長い分を分ける・分のねじれ」を熟読する。自作の表現意図を語る練習をする(2h)
11	<ul style="list-style-type: none"> ・事実か意見か・データの解釈(テキストp34~p37) ・鑑賞を語る(スピーチ) [課題(予習)](トレーニングシ - トp51~p58)の問題編に解答する。(2h) [課題(復習)]テキスト解説編「事実か意見か・データの解釈」を熟読する。鑑賞スピーチの練習をする(2h)
12	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの内容と執筆スケジュール(テキストp38~p49) ・切れ字(表現) [課題(予習)](トレーニングシ - トp59~p74)の問題編に解答する。(2h) [課題(復習)]テキスト解説編「レポートの内容と執筆スケジュール」を熟読する。表現方法(切れ字)の意義と用法を理解する(2h)
13	<ul style="list-style-type: none"> ・体裁・書式(テキストp.50~p51) ・句切れ(表現) [課題(予習)](トレーニングシ - トp75~p76)の問題編に解答する。(2h) [課題(復習)]テキスト解説編「体裁・書式」を熟読する。表現方法(句切れ)の意義と用法を理解する(2h)
14	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート発表会 ・投句(発表) [課題(予習)]プレゼンテーションソフトを使ってレポート発表の準備をする。(2h) [課題(復習)]発表会で得た意見をもとにレポートを修正する。(2h)
15	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめと今後の課題 ・句集を作る [課題(予習)]トレーニングシート第3部の問題編に解答する(2h) [課題(復習)]テキスト解説編第3部を熟読する。句集を読む。(2h)
時間外での学修	(予習)授業ごとの内容を知らせますから、該当部分のトレーニングシートの問題を解いてください。 (復習)授業で説明したことを中心にテキストの解説編をよく読みましょう。疑問があれば次時に発言するようにしてください。 (言語生活)日常生活にある感動を自分の言葉でとらえる訓練をしましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】
受講学生へのメッセージ	人間は言葉を使ってものを考えます。その時に使う言葉を国語と言います。確かで豊かな人生を送るために、国語表現力を磨きましょう。アクティブに授業に参加してください。 オフィスアワーは、毎週金曜日の授業後。場所は非常勤講師控室です。

【9L1L1032】国語表現		教養科目		1年後期		
		2単位	選択	講義	30時間	
教員	西田 拓郎					
資格・制限等	歯科衛生学科 選択必修					
実務家教員	小中学校教員・36年					
授業方法	テキスト「大学生のための日本語表現トレーニング ドリル編」 /三省堂/橋本修・福嶋健伸・安部朋世〔編著〕を活用し、学習課題を解くことを通して、国語表現力を身に付ける。(説明的表現) ○自分の生活を俳句にして、日常生活にある感動を意欲的に語り合う。(文学的表現)					
到達目標	知識・理解	日本語の基本的な能力を修得する。				
	思考・判断・表現	課題や問題点および感動等を言葉で的確に捉え、思考を深める。				
	技能	確実な文章表現技術を身に付ける。				
	関心・意欲・態度	表現することによって日常生活を充実し楽しむことができる。				
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の基礎知識を学び、学生、社会人として必要な文章表現力を修得するための訓練を行う。そのためにテキストのステップ1で予習をする。授業では高等学校までの学習内容を深めながらステップ2に取り組む。ステップ3を復習で行い学習内容を深める。 ・日常の感動を俳句にして交流する。 					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	レポート	15	20	5	10	50
	受講態度	5	5	-	5	15
	発表(グループ発表含む)	10	15	5	5	35
	合計(点)	30	40	10	20	100
評価の特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートには2種類あります。ミニレポートはその時間の学修内容を端的にまとめるものです。その時間の授業についての感想でよろしい。課題レポートは提示した課題についてまとめるものです。 ・受講態度は、課題についての発表内容、発言内容で評価します。 					
ICT活用	プレゼンテーションソフトを使ってレポートを発表したり、意見交換したりします。					
アクティブ・ラーニングの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートを書いてその内容を発表する機会を全員が体験します。 ・日常の感動を俳句でとらえて交流する常時間を持ちます。 					
課題に対するフィードバック	テキストの学修内容は授業内に発表や評価の時間を位置づけます。ミニレポートは、教員のコメントを添えて次の時間に振り返りをします。					
テキスト	『『大学生のための日本語表現トレーニング ドリル編』』橋本修・福嶋健伸・安部朋世〔編著〕三省堂(1,900円)ISBN:978-4-385-36327-1 テキストは必ず購入してください。					
参考書・教材	授業中に紹介します。					

内容	
実施回	授業内容・目標
1	ガイダンス 授業の進め方を知る。(日本語とは何かを考える。) [課題(予習)]テキストを概観して、学習の見通しを持つ。(2h) [課題(復習)]説明的文章と文学的文章について理解し、実際に書き残す。(2h)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・アカデミックワードと日常語(テキストp1~p5) ・定型表現 [課題(予習)](トレーニングシートp1~p4)の問題編に解答する。(2h) [課題(復習)]テキスト解説編「アカデミックワードと日常語」を熟読する。日本語の定型表現に親しむ。(2h)
3	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名遣い・送り仮名・句読点(テキストp6~p9) ・季語 [課題(予習)](トレーニングシートp5~p12)の問題編に解答する。(2h) [課題(復習)]テキスト解説編「仮名遣い・送り仮名・句読点」を熟読する。季語に親しむ。(2h)
4	<ul style="list-style-type: none"> ・四字熟語・ことわざ・慣用句(テキストp10~p11) ・俳句創作 [課題(予習)](テキストp13~p16)の問題編に解答する。(2h) [課題(復習)]テキスト解説編「四字熟語・ことわざ・慣用句」を熟読する。俳句創作に親しむ。(2h)
5	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の使い分け・見やすい表記(テキストp12~p15) ・選句 [課題(予習)](トレーニングシートp17~p22)の問題編に解答する。(2h) [課題(復習)]テキスト解説編「漢字の使い分け・見やすい表記」を熟読する。自分の好きな俳句を鑑賞する。(2h)
6	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語(テキストp16~p17) ・声に出して読む(披露) [課題(予習)](トレーニングシートp23~p26)の問題編に解答する。(2h) [課題(復習)]テキスト解説編「敬語」を熟読する。自分の好きな俳句の音韻やリズムを味わう。(2h)
7	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙・Eメール(テキストp18~p21) ・すぐれた表現を味わう(鑑賞) [課題(予習)](トレーニングシートp27~p34)の問題編に解答する。(2h) [課題(復習)]テキスト解説編「手紙・Eメール」を熟読する。自分の好きな俳句の鑑賞文を書く。(2h)
8	<ul style="list-style-type: none"> ・あいまいな文・分かりやすい語順(テキストp22~p25) ・よさを語り合う(句会) [課題(予習)](トレーニングシートp35~p38)の問題編に解答する。(2h) [課題(復習)]テキスト解説編「あいまいな文・分かりやすい語順」を熟読する。相手のよさをスピーチする練習をする。(2h)
9	<ul style="list-style-type: none"> ・長い分を分ける・分のねじれ(テキストp26~p29) ・よさを語り合う(句会) [課題(予習)](トレーニングシートp35~p38)の問題編に解答する。(2h) [課題(復習)]テキスト解説編「長い分を分ける・分のねじれ」を熟読する。相手のよさをスピーチする練習をする。(2h)

内容	
実施回	授業内容・目標
10	<ul style="list-style-type: none"> ・接続表現の使い方・結論を先に述べる(テキストp30~p33) ・自作を語る(スピーチ) [課題(予習)](トレーニングシ-トp45~p50)の問題編に解答する。(2h) [課題(復習)]テキスト解説編「長い分を分ける・分のねじれ」を熟読する。自作の表現意図を語る練習をする(2h)
11	<ul style="list-style-type: none"> ・事実か意見か・データの解釈(テキストp34~p37) ・鑑賞を語る(スピーチ) [課題(予習)](トレーニングシ-トp51~p58)の問題編に解答する。(2h) [課題(復習)]テキスト解説編「事実か意見か・データの解釈」を熟読する。鑑賞スピーチの練習をする(2h)
12	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの内容と執筆スケジュール(テキストp38~p49) ・切れ字(表現) [課題(予習)](トレーニングシ-トp59~p74)の問題編に解答する。(2h) [課題(復習)]テキスト解説編「レポートの内容と執筆スケジュール」を熟読する。表現方法(切れ字)の意義と用法を理解する(2h)
13	<ul style="list-style-type: none"> ・体裁・書式(テキストp.50~p51) ・句切れ(表現) [課題(予習)](トレーニングシ-トp75~p76)の問題編に解答する。(2h) [課題(復習)]テキスト解説編「体裁・書式」を熟読する。表現方法(句切れ)の意義と用法を理解する(2h)
14	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート発表会 ・投句(発表) [課題(予習)]プレゼンテーションソフトを使ってレポート発表の準備をする。(2h) [課題(復習)]発表会で得た意見をもとにレポートを修正する。(2h)
15	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめと今後の課題 ・句集を作る [課題(予習)]トレーニングシート第3部の問題編に解答する(2h) [課題(復習)]テキスト解説編第3部を熟読する。句集を読む。(2h)
時間外での学修	(予習)授業ごとの内容を知らせますから、該当部分のトレーニングシートの問題を解いてください。 (復習)授業で説明したことを中心にテキストの解説編をよく読みましょう。疑問があれば次時に発言するようにしてください。 (言語生活)日常生活にある感動を自分の言葉でとらえる訓練をしましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間:60時間】
受講学生へのメッセージ	人間は言葉を使ってものを考えます。その時に使う言葉を国語と言います。確かで豊かな人生を送るために、国語表現力を磨きましょう。アクティブに授業に参加してください。 オフィスアワーは、毎週金曜日の授業後。場所は非常勤講師控室です。

【9L1L104】心理学		教養科目		1年後期		
		2単位	選択	講義	30時間	
教員	茂木 七香					
資格・制限等	特になし					
実務家教員	病院臨床心理士6年、学生相談室臨床心理士12年					
授業方法	基本的には講義形式ですが、課題を用いた自分自身の振り返り、ICTツールを用いた意見交流など能動的な学び（アクティブラーニング）の手法も取り入れます。4学科の受講生同士で協力し、交流しながら進めます。					
到達目標	知識・理解	人と関わりを持ちながら生きる上で基盤となる心理学への理解を深め、知識を身につけることができる。				
	思考・判断・表現	学修内容を現実生活と結びつけて考え、様々な場面で適切に対処するための思考力や判断力、表現力を培う。				
	技能	社会人となるために必要なコミュニケーション能力や自己表現力を身につけるため、努力することができる。				
	関心・意欲・態度	学修内容に興味や関心を持ち、主体的・意欲的に取り組むことができる。				
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	私たちは様々な経験を通して自分には心があると知っていますが、触ることも見ることもできない心の仕組みや働きは、何だかよく分からない気もします。この授業では人の心のしくみや働きについて学びます。あなた自身の心のことでもあるので、確かにそつたなど実感しながら理解できる内容です。心理学の数多くの知見の中から、皆さんが大学生活や今後の人生を送る際に知っていると役立つもの・面白いものを厳選しました。授業で得た知識を自分や周りの人々に照らし合わせてみると、より深い学びに繋がります。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	レポート	10	5	5	-	20
	授業時間内課題	5	10	10	10	35
	授業時間外課題	10	10	5	10	35
	受講態度	-	-	-	10	10
合計(点)	25	25	20	30	100	
評価の特記事項	レポート：課題内容はルーブリック(評価基準)とともに授業内で提示 授業時間内課題：授業で記入し提出するワークシートやミニツペーパー 授業時間外課題：授業終了時に配付し次回授業で提出					
ICT活用	授業の理解度確認や受講生間の意見交流のためにクラウドサービスSlidoやGoogleフォームを適宜使用します。					
アクティブラーニングの活用	Slidoを用いた意見交流やグループワーク等を行います。					
課題に対するフィードバック	授業時間外課題については次回以降の授業で適宜コメントを伝えます。					
テキスト	教科書は指定しません。必要な教材は授業時に配付します。					
参考書・教材	参考図書等は授業で紹介しします。無料オンライン教育サービスedXの教材、Introduction to Psychology (St. Margaret's Episcopal School提供)や国内外の他大学や研究機関作成の動画等も使用する予定です。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	心理学とその歴史：日常生活と心理学 心理学の歴史 脳と心の関係 [課題(復習)]シラバスを読んで、一番興味を持った内容について書く(2~4h)					
2	感覚・知覚：知覚の不思議 錯覚 運動知覚 短期記憶と長期記憶 [課題(復習)]身の回りの「知覚の不思議」を探してみる(2~4h)					
3	記憶・思考・知能：記憶のメカニズム 思考の型 知能の構造 [課題(復習)]自分の記憶法を振り返る(2~4h)					
4	学習：条件づけ 般化と分化 動機づけ 原因帰属 観察学習 [課題(復習)]自分のこれまでの学習を振り返る(2~4h)					
5	発達 胎児期~児童期：生涯発達の視点 発達課題 各発達段階の特徴 [課題(復習)]自分のこれまでの発達を振り返る(2~4h)					
6	発達 青年期~老年期：各発達段階の特徴と発達課題 死について [課題(復習)]自分のこれからの発達について考えてみる(2~4h)					
7	感情と性格：感情生起の中核説と末梢説 類型論と特性論 性格検査 [課題(復習)]自分の性格はどのようにして形づくられたのか考えてみる(2~4h)					
8	身の回りの心理学：映画・アニメ・本などの内容を心理学の知識や理論で説明する。 [課題(復習)]身の回りで使われている心理学を見つける(2~4h)					
9	対人：ステレオタイプ 印象形成 態度 バランス理論 [課題(復習)]自分の身近なバランス理論の例を考えてみる(2~4h)					
10	社会：社会的な手抜き 社会的促進 社会的望ましさ 同調 [課題(復習)]自分の経験した社会的な手抜き・促進などの例を振り返る(2~4h)					
11	集団：集団の種類と性質 リーダーシップ論 [課題(復習)]自分の所属した集団のリーダーをタイプに分類してみる(2~4h)					
12	消費行動：認知的不協和 葛藤 宣伝 説得 レポートの書き方ミニレクチャー [課題(復習)]テーマについてのレポートを期限までに作成する(6~8h)					
13	精神保健：心のしくみ ストレスとメンタルヘルス カウンセリング [課題(復習)]テーマについてのレポートを期限までに作成する(6~8h)					
14	レポートを用いた反転授業：これまでの振り返り レポート内容の交流 レポートのプレゼン資料作成 [課題(復習)]自分のレポートを振り返ってみる(2~4h)					
15	まとめ：レポートのフィードバック リクエスト授業 [課題(復習)]これまでに受けてきた心理学の授業を振り返る(Googleフォーム)(2h)					

時間外での学修	授業時間外課題に確実に取り組んでください。次回授業で活用することもあります（反転授業）。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】
受講学生へのメッセージ	心理学は自分の心を知るための学問でもあります。授業に来る時には「今日の私の心はどんな状態だろう」と心を感じるアンテナをONにして来ててください。オフィスアワー：金曜日の12時10分～13時（A306研究室）、授業時間の前後（講義室）

【9L2L101】日本国憲法		教養科目		1年前期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	大矢 武史						
資格・制限等	幼児教育学科 卒業必修、歯科衛生学科 選択必修						
実務家教員							
授業方法	授業は、講義形式で行うが、学生にも積極的に発言を促し双方向を意識して行う。第9講で中間試験を行い、第1部の理解度を確認する。						
到達目標	知識・理解	憲法の役割、基本原理、三権分立のしくみについて理解し、憲法が私たちの生活にどのように関わっているのかを説明できる()。 人権の概念、歴史、現状について理解し、人権保障の役割について説明できる()。 国会、内閣、裁判所のしくみについて理解し、各機関の役割や特徴について説明できる()。					
	備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	この講義は、第1部と第2部で構成される。第1部(第1講～第8講)では、憲法の意義や歴史、前文と基本原理、人権保障について学ぶ。第2部(第10講～第15講)では近代民主主義や政治のしくみ、平和主義について学ぶ。それにより、専門科目の土台となる法知識を修得するとともに、主権者として他者を尊重し責任ある行動をとることができる人間性を育む。 成績評定は、中間試験と期末試験の合計点の得点率を基準として絶対評価で行う。得点率90%以上をAA、80%以上をA、70%以上をB、60%以上をC、60%未満をDとする。						
観点別評価	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	中間試験		50	-	-	-	50
	期末試験		50	-	-	-	50
	合計(点)		100	-	-	-	100
評価の特記事項	授業参画度を考慮し総合的に判断する場合もある。						
ICT活用	ICTの環境上可能であれば、学生が取り組める練習問題を用意する。						
アクティブラーニングの活用	第1講、第5講、第7講、第10～13講では、学生への発問および学生の意見発表を多めに実施する。その他、授業ノートの作成、中間試験および期末試験における学生の理解度の発表・確認も実施する。						
課題に対するフィードバック	第9講で実施する中間試験は、解答を採点のうえ第10講で返却し問題の解説も行う。						
テキスト							
参考書・教材	とくに必要ないが、中学や高校時代の社会科(公民)の資料集を参照すると良い						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	イントロダクション・憲法とはどのような法(ルール)なのか [課題(予習)]憲法と法律の違いについて調べ、理解しておく。(2h) [課題(復習)]憲法とは、どのような法(ルール)なのか復習し理解しておく。(2h)						
2	憲法の歴史・憲法や人権といった概念はいつ、どのようにして誕生したのか [課題(予習)]市民革命と人権の歴史との関わりについて調べ、理解しておく。(2h) [課題(復習)]各国で憲法や人権といった概念が誕生した背景について復習し理解しておく。(2h)						
3	日本国憲法の基本原理・憲法の前文には何が書いてあるのか [課題(予習)]日本国憲法前文で示されている内容について調べ、理解しておく。(2h) [課題(復習)]4つの基本原理がそれぞれどのようなものなのか復習し理解しておく。(2h)						
4	授業内容・目標:基本的人権の保障・人権にはどんな種類があるのか [課題(予習)]基本的人権の3つの性質について調べ、理解しておく。(2h) [課題(復習)]人権の性質や分類、制約について復習し理解しておく。(2h)						
5	授業内容・目標:平等権・許される差別と許されない差別の違いは何か [課題(予習)]絶対的平等と相対的平等の違いについて調べ、理解しておく。(2h) [課題(復習)]14条の役割、許される差別と許されない差別の違いについて復習し理解しておく。(2h)						
6	授業内容・目標:自由権・一人ひとりがあるままに自分らしく生きるために必要なものは何か [課題(予習)]自由権の概念および自由権の分類について調べ、理解しておく。(2h) [課題(復習)]自由権の意義や種類、思想良心の自由や表現の自由の重要性について復習し理解しておく。(2h)						
7	授業内容・目標:社会権・人間らしい生活を営むために必要なものは何か [課題(予習)]社会権に含まれる権利にはどのようなものがあるのか調べ、理解しておく。(2h) [課題(復習)]社会権に分類される権利の役割について復習し理解しておく。(2h)						
8	授業内容・目標:新しい人権・プライバシーや髪型の自由は権利として保障されるのか [課題(予習)]新しい人権にはどのような権利があるのか調べ、理解しておく。(2h) [課題(復習)]新しい人権が保障される根拠とその保障範囲について復習し理解しておく。(2h)						
9	中間試験(第1講～第8講までの理解度確認)						
10	授業内容・目標:政治のしくみ・選挙に行くことは権利なのか義務なのか [課題(予習)]三権分立とはどのようなしくみなのか調べ、理解しておく。(2h) [課題(復習)]近代民主主義の条件、選挙の意義、三権分立のしくみについて復習し理解しておく。(2h)						
11	授業内容・目標:国会のしくみ・なぜ日本の国会では二院制(衆議院、参議院)が採用されているのか [課題(予習)]衆議院と参議院のそれぞれの特徴について調べ、理解しておく。(2h) [課題(復習)]国会の地位、衆参各院の役割、衆議院の優越について復習し理解しておく。(2h)						
12	授業内容・目標:内閣のしくみ・なぜ日本では国民が政治のリーダー(内閣総理大臣)を選挙で直接選べないのか [課題(予習)]議院内閣制と大統領制のメリット・デメリットを調べ、理解しておく。(2h) [課題(復習)]議院内閣制と大統領制のメリット・デメリットについて復習し理解しておく。(2h)						
13	授業内容・目標:裁判所のしくみ・なぜ裁判官は国会で民主的に制定された法律の規定を無効とすることができるのか [課題(予習)]三審制とはどのようなしくみなのか調べ、理解しておく。(2h) [課題(復習)]司法権の独立、三審制のしくみについて復習し理解しておく。(2h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
14	授業内容・目標:憲法9条と安全保障 なぜ憲法9条の改正が議論されているのか 【課題(予習)】安保法の成立により自衛隊の活動がどのように変わったのか調べ、理解しておく。(2h) 【課題(復習)】9条の意味内容や問題点、自衛権について復習し理解しておく。(2h)
15	授業内容・目標:憲法改正 【課題(予習)】憲法の改正手続について調べ、理解しておく。(2h) 【課題(復習)】第9講～第15講の内容を授業ノートにまとめておく。(4h)
時間外での学修	講義後に配付資料を参考にしつつ授業ノートを作成し、学修内容の理解を深めること。 中間試験および期末試験の際、直筆ノートのみ持込みを許可する。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：64時間】 ICTの環境上可能であれば、学生が取り組める練習問題も用意する。
受講学生へのメッセージ	他の受講生に迷惑をかける行為(私語、電話、ゲーム、食事など)は厳禁です。 受講マナーを守り、他の受講生とともに学び・成長する意思をもってがんばりましょう。 オフィスアワー：授業に関する質問や相談については、授業の前後に授業教室で対応します。

【9L2L102】女性学		教養科目		1年前期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	茂木 七香						
資格・制限等	歯科衛生学科 選択必修						
実務家教員	茂木：臨床心理士(病院6年・学生相談室12年)						
授業方法	基本的には講義形式です。自分自身を振り返って記述する課題、クラウドサービスsli.doへの意見入力など、受講生が能動的に学ぶ手法(アクティブラーニング)や、グループワークなども適宜活用します。4学科の受講生同士で協力し交流しながら授業を進めます。						
到達目標	知識・理解	本授業の内容を理解し、これから生きていく上で基盤となる女性に関する知識を身につけることができる。					
	思考・判断・表現	授業で取り扱われた話題について適切に判断し、自らと結び付けた思考や表現をしようとする。					
	技能	社会人となるために必要なコミュニケーション能力を身につけるため、努力することができる。					
	関心・意欲・態度	学修内容に興味や関心を持ち、主体的・意欲的に取り組むことができる。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	あなたの性別は何ですか？大垣「女子」短期大学の学生だから女性でしょうか。では、あなた自身は「自分の人生が女性という属性と共に在る」ことを日頃どれくらい意識して過ごしていますか。この授業では女性をテーマとしてその特性や現代社会での役割や生き方を考えます。本学4学科の教員や多彩な専門分野の外部ゲスト講師を招き、主担当教員(茂木：心理学分野)の道案内で女性の心身の特徴や社会・文化の中での位置づけなどを様々な切り口で扱っていきます。あなたがこの先の人生をどのように生きていくか、考えるきっかけになる内容です。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	レポート(小・最終)		5	5	10	-	20
	授業時間内課題		10	15	-	10	35
	授業時間外課題		15	10	-	10	35
	受講態度		-	-	-	10	10
合計(点)		30	30	10	30	100	
評価の特記事項	レポート：第3回目の授業時間外課題と最終課題として提出。テーマや書式はルーブリック(評価基準)と共に示す。 授業時間内課題：授業中に記入するワークシートや授業終了時に提出するミニツッパーパー 授業時間外課題：授業終了時に配付し時間外に取り組んで次回授業時に提出する課題						
ICT活用	クラウドサービスsli.doやGoogleフォームを用いた意見発表や意見交流。						
アクティブラーニングの活用	意見交流、グループワークの実施						
課題に対するフィードバック	毎回の授業時間外課題については次回以降の授業内で全体に適宜紹介しコメントする。レポートについても全体での内容の交流を行う。						
テキスト							
参考書・教材	授業時に資料を配付、ゲスト講師からのパンフレットなどの資料も配付。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	はじめに(総合教育センター茂木七香)：性別とは 女性学と男性学 性自認と性役割 ライフキャリアレインボー [授業時間外課題(復習)]自分が今まで育ってきた環境をジェンダーの視点で捉え直してみる(2-4h)						
2	女性の権利の歴史と少子化(女性史研究会ささち子)：祖母・母・娘の時代に見る女性と家・労働・学び・戦争 少子化と子育て [課題(復習)]この授業で新しく知ったことについて自分でも調べてみる(2-4h)						
3	教育とジェンダー(茂木)：性役割の形成 アンコンシャスバイアス 絵本とジェンダー [授業時間外課題(復習)]授業での指示に基づき、絵本とジェンダーについての小レポートを作成する(4-6h)						
4	生物学的視点からの女性学(歯科衛生学科松下健二)：遺伝学的、細胞分子学的な男女の差から生じる疾病罹患の相違などを総合的に解説する 【授業時間外課題(復習)】授業で解説した女性特有の疾患について、教科書、参考書等で深く掘り下げる(2-4h)						
5	映画や小説の中のジェンダー(茂木)：映画や小説、メディアの中で女性がどう描かれているか、動画等を視聴しながら考えてみる [授業時間外課題(復習)]身近な映画や小説、テレビ番組やCMなどをジェンダーの視点で捉え直して考察する(2-4h)						
6	女性とモダンデザイン(モダナイズ)(デザイン美術学科日原広一)：モダンデザインの起源である近代(近代化)は、産業革命の影響により、様々な工業化がすすめられた時代です。その影響は、美術界においても、それまでの装飾・有機的(女性・優美的)なものから、実用・無機的(男性・機能的)なものへと美的価値(美的モード)をおおきく変遷させました。本講義では、折しもダンディズム(男性主義)を発生させたこの時代の背後にある、工業化の中の「女性と男性との関係性」を、さまざまなモダンデザインのトピックを介して考察していきます。 [授業時間外課題(復習)]授業で扱った内容や新しく学んだ言葉について自分でも調べてみる(2-4h)						
7	女性と音楽(音楽総合学科菅田文子)：音楽の演奏家・作曲家としての女性の活動 クラシック界での活動と現代ポピュラー音楽での活動の比較 音楽心理学研究からみた女性特有の音楽に対する感受性 [課題(復習)]女性の演奏家やアーティストを一人選び、その人の仕事や人生について調べてみる(2-4h)						
8	ジェンダーと絵本 図書館活用授業(茂木)：ジェンダーに関連する絵本や本を読んだり、絵本の内容や絵をジェンダーの視点から捉え直したりする [授業時間外課題(復習)]授業で調べた内容(ジェンダーと絵本)をまとめ、次回授業のグループワークの準備をする(2-4h)						
9	絵本とジェンダー(茂木)：第3回目授業の時間外課題(小レポート)と8回目授業の外課題を用いた反転授業、グループワーク [授業時間外課題(復習)]授業で他の学生が発表した絵本について調べてみる(2-4h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
10	子育てにおける女性の役割(幼児教育学科大橋淳子):女性を取り巻く子育ての現状と動向 子育てと働き方 [課題(復習)]近年の女性のキャリアやライフスタイル、ワークライフバランスなどについて調べてみる(2-4h)
11	男女共同参画社会について(大垣市男女共同参画推進室長牧岡さつき、茂木):大垣市男女共同参画推進室の活動 学内サークル(TULiP(大垣女短ジェンダーについて考えるサークル)の活動紹介 [課題(復習)]授業で扱った内容や新しく学んだ言葉について自分でも調べてみる(2-4h)
12	発達心理学とジェンダー(茂木):生涯発達心理学から捉えた女性 女性のストレス 性の多様性と性自認 [授業時間外課題(復習)]自分自身のこれまでの発達を踏まえてジェンダーについて捉え直す(2-4h)
13	性別違和と性の多様性(ぎふ・ばすぽーと雪齋):LGBTQについて(トランスジェンダー当事者としての経験を踏まえて) [授業時間外課題(復習)]授業の中に出てきた内容について自分でも調べてみる(2-4h)
14	ひとりひとりが幸せな社会のために(雪齋、茂木):前回授業での質問へのフィードバック 誰もが自分らしく生きられる社会の実現について グループワーク [授業時間外課題(復習)]最終レポートのテーマについて考え、レポート作成計画をたてる(2-4h)
15	まとめ(茂木):これまでに学んだことの振り返り レポート課題についてのワーク [授業時間外課題(復習)]ルーブリックに基づき最終レポートを作成する(4-6h)
時間外での学修	毎回の授業時間外課題にしっかり取り組んで下さい。次回以降の授業で活用することもあります(反転授業)。授業を離れた日常生活場面では、授業で学修したテーマが世の中でどのように取り上げられているかをあらためて意識してみてください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間:60時間】
受講学生へのメッセージ	この授業では様々な分野の専門家から貴重な話を聞くことができます。ここで得た情報や気づきを、自分自身の中で新たなテーマとして広げてほしいです。オフィスアワー:金曜日12時10分~13時(A306)

【9L2L103】地域の歴史と文化		教養科目		1年後期		
		2単位	選択	講義	30時間	
教員	西田 拓郎					
資格・制限等	歯科衛生学科 選択必修					
実務家教員	小中学校教員・36年(教育委員会事務局6年)					
授業方法	岐阜県大垣市(西濃)が舞台となっている俳句や歌詞、物語を読み、そこに登場する歴史事象や文化を理解していきます。また、自分のふるさとのそれと比較しながら双方のよさを実感できるようにします。アクティブラーニングを取り入れて体験活動、調査発表や意見・感想交流等の学修も積極的に行います。					
到達目標	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	<p>本学が所在する岐阜県大垣市(西濃)の歴史や文化には地域的な特色があります。たとえば、東西通行の要衝にあり、松尾芭蕉「おくのほそ道」むすびの地になっております。そのため、俳句文化が盛んです。また、低湿地帯でもある西濃地域には、中央政権の争いの場となったり水との戦いが繰り広げられたりした歴史や文化があります。こうした地域の特色を、身近な歌詞や物語に親しみながら理解していきます。また、自分のふるさとと比べながら、双方のよさを実感していきます。</p>					
観点別評価	評価の観点				合計(点)	
	評価方法					
	レポート	15	25	10		50
	受講態度	5	5	5		15
	発表(グループ発表含む)	10	10	10		35
	合計(点)	30	40	20	100	
評価の特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミニレポートはその時間の学修内容を端的にまとめるものです。その時間の授業についての感想でよい。 ・ 受講態度は、課題についての発表内容、発言内容で評価します。 					
ICT活用	プレゼンテーションソフトを使って発表したり、話を聞いたりします。					
アクティブ・ラーニングの活用	校歌にみる地域の歴史や文化を調べて発表する機会を全員が体験する。					
課題に対するフィードバック	課題についての学修内容は授業内に発表や評価の時間を位置づけます。ミニレポートは、教員のコメントを添えて次の時間に返します。					
テキスト	なし					
参考書・教材	参考になるものは授業内で紹介します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	大垣市の歴史や文化の第一印象を大切に、自分のふるさとと比較し双方のよさを感じ取る。地域の歴史や文化の概要を知り、学修計画を立てる。 [課題(復習)]本時の学修を復習し、今後の学修の見通しを立てる。(4h)					
2	「おくのほそ道」(松尾芭蕉)にみる大垣の歴史や文化を知る。歌詞に表現されているふるさとの歴史や文化を取り出して交流する。 [課題(復習)]「おくのほそ道」と大垣の結びつきについて学修したことをまとめる。(4h)					
3	俳句創作・句会体験をとおして、地域に根付いている俳句文化を理解する。 [課題(復習)]俳句創作や句会の方法について学修したことをまとめる。(4h)					
4	校歌に詠われている地域の歴史や文化を理解する。金生山や杭瀬川など赤坂地区の歴史と文化をたどる。 [課題(復習)]大垣市の戦後復興と文化について学修したことをまとめる。(4h)					
5	校歌に詠われている地域の歴史や文化を調査する。校歌に見る歴史と文化をたどる。 [課題(復習)]自分の出身校の校歌について調査したことをまとめる。(4h)					
6	校歌に詠われている地域の歴史や文化を発表する。校歌にはどのような地域の歴史と文化が詠われているかを知る。 [課題(復習)]自分の出身校の校歌には地域のどのような歴史や文化が詠われているかまとめる。(4h)					
7	校歌に詠われている地域の歴史や文化を交流する。校歌にはどのような地域の歴史と文化が詠われているかを知る。 [課題(復習)]校歌には地域のどのような歴史や文化が詠われているかまとめる。(4h)					
8	「疑惑」(芥川龍之介)にみる地域の歴史や文化を知る。明治期に大垣市を襲った濃美大震災の様子と立ち上がる人々の姿を知る。 [課題(復習)]濃尾大震災と復興の様子について学修したことをまとめる。(4h)					
9	「恩讐の彼方に」(菊池寛)にみる地域の歴史や文化を知る。地域の街道や寺院の歴史について知る。 [課題(復習)]大垣市を通る街道と寺院について学修したことをまとめる。(4h)					
10	「梁塵秘抄」(後白河法皇)にみる地域の歴史や文化を知る。地域の街道や宿場町の歴史について知る。 [課題(復習)]大垣市を通る街道と宿場町について学修したことをまとめる。(4h)					
11	「序の舞」(宮尾登美子)にみる地域の歴史や文化を知る。日本画の歴史をたどる。地域の宿場町の様子を知る。 [課題(復習)]日本画の歴史と大垣について学修したことをまとめる。(4h)					
12	「細雪」(谷崎潤一郎)にみる地域の歴史や文化を知る。戦前の婚姻における民俗や地域にたくさんの名所があった蛸狩について知る。 [課題(復習)]大垣市の蛸狩について学修したことをまとめる。(4h)					
13	「美濃浪人」(司馬遼太郎)にみる地域の歴史や文化を知る。幕末の動乱に地域の人々がどのようななかかわりをもっていたかを知る。 [課題(復習)]幕末の動乱と大垣市ゆかりの人々とのなかかわりについて学修したことをまとめる。(4h)					
14	「花筵」(山本周五郎)にみる地域の歴史や文化を知る。大垣藩主・戸田氏英時代に行われた「宝暦の治水工事」とおして、地域の水害との戦いの歴史を知る。 [課題(復習)]大垣市の水害との戦いの歴史について学修したことをまとめる。(4h)					
15	地域の歴史と文化の特色をまとめ、自分のふるさとと比べながら双方の素晴らしさを実感する。 [課題(復習)]大垣市の歴史と文化の特色をまとめる。(4h)					

時間外での学修	<p>授業ごとの内容を知らせますから、関連の詩や物語に親しむとともにそこに書かれている歴史や文化について知識を得てきてください。授業では、史跡や文化財を紹介しますから、見学に出かけるなどの立体的な学修を進めましょう。また授業で体験した文化活動は機会を見つけて追体験するとよいでしょう。</p> <p>【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】</p>
受講学生へのメッセージ	<p>それぞれの地域にはそれぞれの地域の特性に合った歴史や文化があり、その歴史や文化が今日の地域社会を築き上げています。そのよさを実感しましょう。オフィスアワーは、毎週金曜日の授業後。場所は非常勤講師控室です。</p>

【9L3L102】くらしの科学		教養科目		1年後期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	纈纈 守						
資格・制限等	歯科衛生学科 選択必修						
実務家教員	機能性食品会社の基礎研究所に10年間勤務						
授業方法	対面、必要に応じてオンライン講義 講義、ディスカッション、調査・発表。質問やメッセージは、講義中や前後に問合せください。電子メール等でも受け付けます。						
到達目標	知識・理解	専門分野を学ぶ基盤となる知識及び社会人に共通して求められる社会変化への対応と地域に貢献していくための基本的知識について理解する。					
	思考・判断・表現	人間の在り方や生き方、文化や社会、環境などの理解に必要で、専門分野を学ぶための基本ともなる思考力や判断力、表現力を養う。					
	技能	専門分野を学ぶ基盤となる学問的な技能や知的技法及び社会人に必要なコミュニケーション能力や社会生活の基本となる技能を獲得する。					
	関心・意欲・態度	教養について学ぶことを将来の社会的役割と結びつけてとらえ、学修への関心と意欲を持って、主体的に取り組んでいこうとする態度を身に付ける。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	私たちのくらしのまわりには科学が関わることに満ち溢れています。たとえばドライクリーニングは石油系溶剤で洗うので油汚れや皮脂汚れに効果的、一方、汗やジュースの汚れは家庭用洗濯機で水洗いが効果的。もっときれいになるかと思ってお風呂とトイレの洗剤を両方使い毒ガスが発生し亡くなった主婦のお話。水の話、昆布、鰹節などのうまみ成分、発酵食品、スマホの充電機などすべて科学が関わっています。身のまわりの様々な現象を学習すれば充実した安全な日常生活を送ることができます。本講義では身近な事例をとりあげ卒業後も役立つ基礎知識を理解していきます。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		30	20	10	10	70
	小テスト		10	10	-	10	30
	合計(点)		40	30	10	20	100
評価の特記事項	講義中に重要事項をしっかりとメモして筆記試験に備えてください。3分の2以上の出席は必須要件です						
ICT活用	ICTを活用した自主学習支援として、教科書の中に、QRコードがあります。講義中の指示に従って各自のスマホにて動画や写真を見ることにより、より具体的に内容を把握し理解が深まります						
アクティブ・ラーニングの活用	講義中に課題を出し、学生同士でその課題を解決するためにグループ学習をします。その成果を発表しあい、考えを共有するとともにみんなで正しい解答に到達できるようにします						
課題に対するフィードバック	フィードバックとして理解度確認テストを実施し、解答の解説をします						
テキスト	『楽しく学ぶ くらしの化学 - 生活に生かせる化学の知識 -』 纈纈 守 株式会社 化学同人(1,980円))ISBN:9784759820553						
参考書・教材							
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	授業内容・目標:第 部 飾る(衣) 貴金属(金、白金、銀) 地球上にある物質をまとめた周期表、いろいろな元素について学んでみよう。婚約指輪など憧れの貴金属(金、白金、銀)の特徴を知ろう [課題(復習)] 身近な貴金属とその利用の現状をまとめる (4h)						
2	授業内容・目標:第 部 飾る(衣) 香料,化粧品 食品や日用品に使われている香料について学ぶ。化粧品の種類やその役割、成分や効能などについて理解する [課題(復習)] 香料及び女性にとって欠かせない化粧品の特性と性質についてまとめ、成分や効果に関して物質レベルで理解する (4h)						
3	授業内容・目標:第 部 飾る(衣) 繊維,衣類 衣服に使われている繊維の種類と特徴、洗濯表示マークについて学ぶ [課題(復習)] 身の回りの衣服に使われている繊維の種類や取り扱い方法や洗濯の方法などをラベル表示などから整理し理解する (4h)						
4	授業内容・目標:第 部 飾る(衣) 石けん,洗剤 洗濯の際に用いる石けんの役割、洗髪の際のシャンプーなど界面活性剤、ドライクリーニングの特徴やそれら洗浄方法の上手な使い分け方について理解する [課題(復習)] 石けんをはじめとした界面活性剤やクリーニングの基礎知識について整理する (4h)						
5	授業内容・目標:第 部 食べる(食) 味覚 五基本味(甘味、塩味、酸味、苦味、うま味)の成分がどんな物質によりそれらの性質を示しているか把握しそれらの特徴を理解する [課題(復習)] 五基本味やそれらに起因する各成分に関して整理し理解する (4h)						
6	授業内容・目標:第 部 食べる(食) 栄養 炭水化物,たんぱく質 5大栄養素である炭水化物、たんぱく質の成分や特徴を把握しそれらが健康にどのように関与しているか理解する [課題(復習)] 5大栄養素である炭水化物、たんぱく質について学んだことを復習する (4h)						
7	授業内容・目標:第 部 食べる(食) 栄養 脂質,ミネラル,ビタミン 5大栄養素である脂質、ミネラル、うま味についてその特徴を理解する [課題(復習)] 脂質、ミネラル、うま味について学んだことを復習する (4h)						
8	授業内容・目標:第 部 食べる(食) 発酵 発酵とは? 味噌、醤油、みりん、漬物、ヨーグルト、チーズ、アルコール、ワイン、日本酒など発酵食品の種類、製法や発酵の過程について学ぶ。アルコール飲料の製法などを解説。ウイスキー、アルコール代謝、酢酸、パン、なれずし、納豆の製法について学ぶ [課題(復習)] 日本古来の発酵食品や発酵乳製品など発酵食品の種類や特徴について学んだことを整理する (4h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
9	授業内容・目標:第 部 食べる(食)水 水の特徴や種類を学ぶ。調理の際に用いる調理法は物質の状態変化。圧力鍋、浸透圧など水にかかわる化学現象を理解し調理に役立てる知恵を獲得する [課題(復習)]人間にとって欠かせない水の特性と性質についてまとめる。調理と物質の状態変化の関係について学習する(4h)
10	授業内容・目標:第 部 暮らす(住)金属と文明 人類の歴史と金属の関わり現代生活での金属や合金の貢献などについて学ぶ [課題(復習)]人間にとって欠かせない金属や合金の特性と性質について理解する。人類文明と金属との関係について学習する(4h)
11	授業内容・目標:第 部 暮らす(住)薬と毒 薬の歴史や主要な薬に関して内容を理解する。農薬や毒物に関して正しい知識を身に付けられるよう解説する [課題(復習)]人間の健康維持に欠かせない薬の特性と性質について理解する。農薬や毒物に関して正しい知識を身に付け正しく利用し安全な生活が営めるよう学習する(4h)
12	授業内容・目標:第 部 暮らす(住)色と光 色はなぜ見え、なぜそのような色に見えるのか。花火の色はなぜあの色に見えるのか。光や色の変化や発色の機構について概説する [課題(復習)]人の心をほっとさせ美しいと感じさせる色の正体を学んでみよう(4h)
13	授業内容・目標:第 部 暮らす(住)家電と日用品 化学反応を利用した使い捨てカイロや冷却パック、冷蔵庫の冷えるしくみ、電子レンジや電気こたつの温めるしくみなど日用品や家電製品の原理を理解しより有意義な日常生活が送れるように概説します [課題(復習)]人の心をほっとさせ美しいと感じさせる色の正体を理解する(4h)
14	授業内容・目標:第 部 暮らす(住)電気と電池 太陽光を利用したソーラーセルや風力発電など自然エネルギーについて学ぶ。電池の開発の歴史、電池の種類(マンガン電池、ニカド電池、リチウムイオン電池、燃料電池など)、製法と特徴を理解し日常生活で上手に使い分ける方法を理解する [課題(復習)]太陽光発電、風力発電、地熱発電、バイオマス発電など自然エネルギーの実情と課題や今後の予測について整理する。スマホなど身の回りにある電池について調べ、整理し理解する(4h)
15	授業内容・目標:第 部 暮らす(住)石油とプラスチック 人類のエネルギー供給源である化石燃料について学ぶ。プラスチックの原料など石油の重要度と応用実態を把握しリサイクルに関しても解説する [課題(復習)]限りある炭素資源(化石燃料)の実情と課題や今後の予測について整理する。石油由来のナフサから製造されているプラスチックについて種類や特徴について整理し理解する。限りある資源の有効な活用方法やリサイクルに関して何ができるのか自分自身でよく考えてみよう(4h)
時間外での学修	理系科目は嫌い、「化学や物理」は記号が多くておぼえることが多いので嫌い、わからない、難しいといった印象を持っている人が多いかもしれません。日常生活の中で「化学や物理」がどのように関わっているか、意識してみましょう。食品、洗剤など日用品についている成分表なども注意して見てみると面白いですよ。実は皆さんはスマホの充電電池や化粧品など様々な「化学や物理の関わる」製品に毎日接してその恩恵を預かっています。講義中に知識の整理と確認のための小テストも行います。各回、学修した内容と日常生活とのかかわりを毎回の授業前後に探索し整理しまとめてみよう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】
受講学生へのメッセージ	この講義では、記号や反応式、数式をただ暗記するのではなくみなさんにとって日々の生活に直接関係するお話をいっぱいします。「スマホの充電電池はこうなっているのか。」「毎日食べる食材から私の体できているんだ。」などの内容です。オフィスアワーは講義前後、質問などはこの時間に直接あるいは電子メールアドレス(koketsu.mamoru.e0@f.gifu-u.ac.jp)にて行ってください。常時受け付けます。

【9L3L103】ヒトの身体のしくみ		教養科目		1年前期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	松下 健二						
資格・制限等	歯科衛生学科 卒業必修						
実務家教員	歯科医師、博士（歯学）（大学および研究機関）：25年						
授業方法	講義と調べ学習の双方を活用した授業を行う。教科書だけでなくスライドや配付資料も併用し、レポート課題による自主的な取り組みも実施する。（状況により遠隔授業となることがある）						
到達目標	知識・理解	人間（ヒト）を中心とした基本的な生物の成り立ちと生命現象を理解し、生物の営みを理解するための知識を身につける。					
	思考・判断・表現	生物学に関連する情報に関心を持ち、自ら調べることにより自分自身の力で知識を広めることができる。					
	備考						
授業内容	本講義では、人間（ヒト）の生命現象を中心にとり上げる。「生きている」とはどのようなことなのか、について生物学的観点から解説し、生命の不思議を掘り下げる。						
観点別評価		評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	レポート		70	30	-	-	100
	合計(点)		70	30	-	-	100
評価の特記事項	日々の課題レポート提出と最終レポート提出により総合的に判定します。						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	事前にテーマを与えて自分自身で調べ、次の授業で発表・意見交換を行う						
課題に対するフィードバック	講義内で課題内の重要事項について解説を行う。						
テキスト	『ヒトを理解するための生物学（改訂版）』八杉貞雄 裳華房(2420円) ISBN:978-4785352424』八杉貞雄 裳華房(2,420円) ISBN:978-4785352424						
参考書・教材							
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	○基礎生物学オリエンテーション ・「生きている」とは ・エネルギー ・生命体を構成する細胞 生命活動を維持するエネルギーや生命体を構成する細胞について理解する。 [課題（復習）] 講義で取り上げた生物学的知識、特に生命を維持するエネルギーや細胞について教科書や配布資料、インターネット資料などをを用い整理する。（4h）						
2	○ヒトの構造（つくり）と各臓器の機能（役割） ・消化器系器官と栄養素 エネルギーの源となる食物から栄養を取り込むシステムについて理解する [課題（復習）] 講義で取り上げた生物学的知識、特に消化器系臓器の構造と機能について、教科書や配布資料、インターネット資料などをを用い整理する。（4h）						
3	○ヒトの構造（つくり）と各臓器の機能（役割） ・循環器系器官 ・呼吸器系器官 ・ミトコンドリアとATP 栄養素と酸素を運ぶ血液循環について理解する。ミトコンドリアでのATPに酸素が必要であることを理解する。 [課題（復習）] 講義で取り上げた生物学的知識、特に循環器系および呼吸器系臓器の構造と機能について教科書や配布資料、インターネット資料などをを用い整理する。（4h）						
4	○ヒトの構造（つくり）と各臓器の機能（役割） ・筋系 ・骨格系（関節含む） 「運動機能」を発揮する筋肉と骨・関節について理解する。 [課題（復習）] 講義で取り上げた生物学的知識、特に運動器系臓器の構造と機能について教科書や配布資料、インターネット資料などをを用い整理する。（4h）						
5	○ヒトの構造（つくり）と各臓器の機能（役割） ・感覚器系 ・神経系 内外の情報をキャッチする感覚器系と内蔵機能を統制する神経系について理解する。 [課題（復習）] 講義で取り上げた生物学的知識、特に感覚器系および神経系臓器の構造と機能について教科書や配布資料、インターネット資料などをを用い整理する。（4h）						
6	○ヒトの構造（つくり）と各臓器の機能（役割） ・血液系 ・生体防御（免疫） 血液成分と生体防御のしくみを理解する。 [課題（復習）] 講義で取り上げた生物学的知識、特に感覚器系および神経系臓器の構造と機能について教科書や配布資料、インターネット資料などをを用い整理する。（4h）						
7	○ヒトの構造（つくり）と各臓器の機能（役割） ・体液とイオン/生体恒常性（ホメオスタシス） ・泌尿器系 体液の成分と調節、腎臓の機能に、排尿機構などについて理解する。 [課題（復習）] 講義で取り上げた生物学的知識、特に泌尿器系臓器の構造と機能について教科書や配布資料、インターネット資料などをを用い整理する。（4h）						

内容	
実施回	授業内容・目標
8	○ヒトの構造(つくり)と各臓器の機能(役割り) ・DNAの構造と機能/タンパク質合成 ・DNAのつくりと役割り、タンパク質の合成などについて理解する。 [課題(復習)] 講義で取り上げた生物学的知識、特に種の保存とDNAについて教科書や配布資料、インターネット資料などを用い整理する。(4h)
9	○ヒトの構造(つくり)と各臓器の機能(役割り) ・DNAと細胞分裂 ・生殖細胞と生殖系/ヒトの発生 細胞分裂時のDNAの挙動、ヒトの発生について理解する。 [課題(復習)] 講義で取り上げた生物学的知識、特に生殖系およびヒトの発生について教科書や配布資料、インターネット資料などを用い整理する。(4h)
10	○ヒトの構造(つくり)と各臓器の機能(役割り) ・内分泌(ホルモン)系 ホルモンを分泌する臓器とホルモンの種類・機能を理解する。 [課題(復習)] 講義で取り上げた生物学的知識、特に内分泌系臓器の構造と機能について教科書や配布資料、インターネット資料などを用い整理する。(4h)
11	○ヒトを取り巻く環境と生物 ・微生物 ・生態系 地球を中心とした生態系について理解する。 [課題(復習)] 講義で取り上げた生態系の知識について教科書や配布資料、インターネット資料などを用い整理する。(4h)
12	○生命を維持する物質 ・栄養素とエネルギー ・酵素とビタミン/常在菌と常在細菌 生命活動に関わる重要な物質を知り、役割を理解する。 [課題(復習)] 講義で取り上げた栄養学および微生物学的知識について教科書や配布資料、インターネット資料などを用い整理する。(4h)
13	○人体に発生する異常(病気・疾患)の例 ・糖尿病 ・高血圧 ・脳卒中 ・がん 健康的な生活を営むために、代表的な病気を理解する。 [課題(復習)] 講義で取り上げた人体に発生する疾患について生物学的知識をベースに、教科書や配布資料、インターネット資料などを用い整理する。(4h)
14	○まとめと振り返り ・重要事項の確認 ・問題演習 問題演習を通じて「生物とは何か」「人体(ヒト)の構造と機能」の理解を深める。 [課題(復習)] 生物学的知識全般について教科書や配布資料、インターネット資料などを用い整理する。(4h)
15	○まとめと振り返り ・重要事項の確認 ・問題演習 問題演習を通じて「生物とは何か」「人体(ヒト)の構造と機能」の理解を深める。 [課題(復習)] 生物学的知識全般について教科書や配布資料、インターネット資料などを用い整理する。(4h)
時間外での学修	講義終了後に教科書や配布プリント・インターネットなどを用いて各自、復習し知識の定着を行うこと。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】
受講学生へのメッセージ	生物学的な知識は、対人援助職のみならず社会人の教養としても非常に大切です。各自、予習・復習をして授業に臨んで下さい。松下のオフィス(研究室)は「G206」です。オフィスアワーについては講義開始時に伝達します。

【9L4L101】子ども学入門		教養科目		1年後期		
		2単位	選択	講義	30時間	
教員	名和 孝浩・岡本 英通・川島 民子					
資格・制限等	歯科衛生学科 選択必修					
実務家教員	川島民子 特別支援学校教員25年 岡本英通 小中学校教員4年					
授業方法	講義を中心に演習や映像教材等を使用した学修やグループワークを行う。					
到達目標	知識・理解	乳幼児期から学童期、青年期における子どもの発達について理解し、保育や子育てに関する知識を身に付けることができる。				
	思考・判断・表現	時代変化や多様性のある社会において、保育・教育に関する内容や子育て・子育て支援を踏まえて、子どもの生きる力を育てる柔軟な対応について考えることができる。				
	技能	授業を通して子ども観を養い、子どもの視点に立った学修内容の記述ができる。また子どものモデルとなるような社会生活の基本やコミュニケーション能力を身に付けることができる。				
	関心・意欲・態度	学修内容に興味や関心をもち、見通しをもって主体的かつ意欲的に取り組むことができる。				
授業内容	子どもの健やかな成長や発達の基礎は、子どもの養育にあたる保護者や保育者が子どもに関わる中で育成されます。誕生から就学を中心に、学童期や青年期までを含めた子どもの発達特性や発達過程、保育に関する知識と技術を学び、将来の子育てや子育て支援に寄与する意欲や態度を育てていきます。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	筆記試験	25	25	10	-	60
	学修課題・レポートなど	15	-	15	-	30
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計(点)	40	25	25	10	100
評価の特記事項	受講態度は学修への取り組み状況、課題の提出状況から総合的に評価する。					
ICT活用	学生の意見交流や共有のためにGoogleフォームなどのサービスを活用する。					
アクティブ・ラーニングの活用	演習等を通して、互いの意見を交流することで、自分自身の子ども理解や保育・教育及び子育てに関する考えを養う。					
課題に対するフィードバック	授業コメントや課題の共有、助言、質疑応答などを行うことでフィードバックする。					
テキスト						
参考書・教材	受講時に適宜資料を配布する。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス/子どもの世界を覗く 本科目に関する授業内容や達成課題、評価方法等について理解する。また、オリエンテーションとして子どもの視野を体験し、子どもの視点や世界についてのイメージをもって今後の授業に臨めるようにする。 〔課題(復習)〕科目に対する自身の目標や意気込み、オリエンテーション内容についてまとめる。(2~4h)					
2	日本における子ども・子育て社会の現状/課題の確認 近代における日本の子育ての変遷や育児の実際、子どもに関する制度などの現状について理解する 〔課題(復習)〕授業内容についてまとめ、日本における子育ての制度や現状について自分の考えを述べる。(2~4h)					
3	保育・教育施設の理解と園生活における1日の生活の流れ 保育所・幼稚園・認定こども園の各保育・教育施設の区分を理解する。また実際の園生活の流れやその意味について理解する。 〔課題(復習)〕授業内容についてまとめ、園生活の意義について自分の考えを述べる。(2~4h)					
4	保育の基盤としての子ども理解 保育の基盤としてある子ども理解とは何か、また理解することでどのように保育や子どもの育ちへとつながるのかについて理解する。 〔課題(復習)〕授業内容についてまとめ、子ども理解を基にした保育に関する自分の考えを述べる。(2~4h)					
5	遊びを通じた総合的な育ち 乳幼児期に必要な育ちとは何か。またそれらが遊びによってどのように育つのか、保育者は遊びへの援助をどのように行うのかについて理解する。 〔課題(復習)〕授業内容についてまとめ、遊びの意義や子どもの育ちについて自分の考えを述べる。(2~4h)					
6	乳幼児期の発達と保育 : 子ども理解と保育者のかかわり 乳幼児期のおとなとの関係性や、乳幼児期の発達に合わせた保育者のかかわりについて理解する。 〔課題(復習)〕授業内容についてまとめ、発達に応じた大人の対応について自分の考えを述べる。(2~4h)					
7	乳幼児期の発達と保育 : 子ども理解と仲間関係の形成/課題の確認 乳幼児期における仲間関係の形成やその発達の意味について知り、子ども理解を深める。 〔課題(復習)〕授業内容についてまとめ、園生活における子ども同士のかかわりと育ちについて自分の考えを述べる。(2~4h)					
8	幼児期の保育・教育と小学校の接続 幼小の接続における日本の現状(他国との比較や問題点)について理解する。また保育者・教育者は、どのように子どもへ支援を行うのかについて理解する。 〔課題(復習)〕授業内容についてまとめ、幼小の接続における日本の現状について自分の考えを述べる。(2~4h)					
9	学童期から青年期にかけての発達と教育 : 心理学の視点から 心理学の視点から、小・中学生の発達段階について知り、子ども理解を深める。 〔課題(復習)〕授業内容についてまとめ、自分(大人)と小・中学生との違いについて、心理学の視点から自分の考えを述べる。(2~4h)					

内容	
実施回	授業内容・目標
10	学童期から青年期にかけの発達と教育 :教科教育学の視点から(小学校段階) 教科教育学の視点から、小学生の発達段階について知り、子ども理解を深める。 〔課題(復習)〕授業内容についてまとめ、小学校における教科教育について留意する点や自分の考えを述べる。(2~4h)
11	学童期から青年期にかけの発達と教育 :教科教育学の視点から(中学校段階) 教科教育学の視点から、中学生の発達段階について知り、子ども理解を深める。 〔課題(復習)〕授業内容についてまとめ、中学校における教科教育について留意する点や自分の考えを述べる。(2~4h)
12	さまざまな子ども・保護者を支援する保育 特別な教育的ニーズを有する子どもたちについて知り、子ども理解を深める。 〔課題(復習)〕授業内容についてまとめ、特別支援教育や不登校、外国籍等の現状について自分の考えを述べる。(2~4h)
13	諸外国における子育て・保育・教育の環境 日本以外の国における子育て・保育・教育の環境について知り、日本との違いを比較して、日本における子育て・保育・教育の環境への理解を深める。 〔課題(復習)〕授業内容についてまとめ、日本における子育て・保育・教育の環境に関する自分の考えを述べる。(2~4h)
14	児童文化としての絵本のある生活/課題の確認 児童文化である絵本の意義やその効果を理解する。また学生自身がお気に入りの絵本を紹介し、絵本についての理解を深める。 〔課題(復習)〕絵本の良さや大切さについて自分の考えを述べる。(2~4h)
15	まとめ:授業の振り返りと最終評価の実施【筆記試験】 科目に関する知識や思考を問う筆記試験を行う。 〔課題(復習)〕授業で学んだ全体的な内容について振り返り、総合的なまとめを行う。(2~4h)
時間外での学修	保育・教育及び子育てを取り巻く制度、時事問題などに関心をもち、情報や資料を収集する。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間:60時間】
受講学生へのメッセージ	この科目を通して保育や子育てに関する基本理解や、興味をもってもらえたら嬉しいです。質問等は各教員のオフィスアワーを活用してください。

【9L4L102】音楽療法入門		教養科目		1年前期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	菅田 文子						
資格・制限等	特になし						
実務家教員	音楽療法関連公的機関勤務5年、音楽療法実践30年						
授業方法	講義と簡単な演習、音楽療法の実践現場の動画の視聴も授業内で行う。						
到達目標	知識・理解	音楽療法について基礎的な知識を得ている。					
	思考・判断・表現	高齢者、児童、成人を対象とした音楽療法について、どのような働きかけが適当か判断、表現することができる。					
	技能	音楽療法の目的について例を挙げて述べることができる。					
	関心・意欲・態度	音楽の療法的な使用について関心や意欲をもち学修に取り組むことができる。					
授業内容	音楽療法とは何かについて、音楽療法の歴史を踏まえながら現在行われている音楽の療法的活用について学ぶ。実際の音楽活動も授業内に取り入れ、音楽が人の心と身体にどのように作用するか体験する。						
観点別評価	評価の方法	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	筆記試験		30	15	15	-	60
	課題提出		-	20	10	10	40
	合計(点)		30	35	25	10	100
評価の特記事項	授業回数の1/3以上欠席した学生は単位修得資格がありません。レポート課題の提出がない学生は筆記試験の受験資格がありません。						
ICT活用	課題や授業の感想をGoogleFormで提出してもらいます。						
アクティブ・ラーニングの活用	授業前課題を出し、出された意見を授業に取り入れます。						
課題に対するフィードバック	学生ポータルやGoogleFormなどを活用して学生と意見交換を行います。						
テキスト							
参考書・教材	授業内でプリントを配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	音楽療法の定義1：聴取型音楽療法と能動的音楽療法の違い、能動的音楽療法の種類について [課題(復習)]授業時に提示される1回目の課題に取り組む(4h)						
2	音楽療法の定義2：聴取型音楽療法について 一般的な知識と科学的根拠について [課題(復習)]授業時に提示される2回目の課題に取り組む(4h)						
3	音楽療法の歴史：原始時代、古代、中世から近代までの音楽と医療の関わりについて [課題(復習)]授業時に提示される3回目の課題に取り組む(4h)						
4	高齢者の音楽療法1：認知症の種類、音楽活動について [課題(復習)]戦時中の音楽について動画サイトで視聴しまとめる(4h)						
5	高齢者の音楽療法2：介護予防と音楽療法 [課題(復習)]学んだ内容を復習し、昔やったことのある手遊びについてまとめる(4h)						
6	高齢者の音楽療法3：日本歌謡史となじみの歌 [課題(復習)]学んだ内容を復習し、自分の親世代、祖父母世代のなじみの歌についてまとめる(4h)						
7	音楽療法の作業手順、なじみの歌法について [課題(復習)]学んだ内容を復習し、自分にとってのなじみの歌を考える(4h)						
8	医療現場の音楽療法1：ホスピス、緩和ケアの音楽療法 [課題(復習)]学んだ内容を復習し、自らの死生観について考えをまとめる(4h)						
9	児童分野の音楽療法1：検診について、障害を持つ子どもの療育について [課題(復習)]学んだ内容を復習し、子どもの音楽遊び活動について例をまとめる(4h)						
10	児童分野の音楽療法2：自閉性スペクトラム障害について、心の理論について [課題(復習)]学んだ内容を復習し、自閉性スペクトラム障害の著名人についてまとめる(4h)						
11	児童分野の音楽療法3：不登校とカウンセリング [課題(復習)]学んだ内容を復習し、学校に行きたくなくなるということについて自分の考えをまとめる(4h)						
12	精神障害と音楽療法：統合失調症について [課題(復習)]学んだ内容を復習し、心理社会的治療についてまとめる(4h)						
13	医療現場の音楽療法2：疼痛緩和と音楽療法 [課題(復習)]学んだ内容を復習し、リラクゼーション音楽について調べる(4h)						
14	医療現場の音楽療法3：昏睡患者、NICUにおける音楽療法 [課題(復習)]学んだ内容を復習し、低出生体重児への歌いかけに適した曲について例を挙げてまとめる(4h)						
15	さまざまな現場の音楽療法：教育、福祉、地域における音楽療法 筆記試験 [課題(復習)]学んだ内容を復習する(4h)						
時間外での学修	学んだ内容について、自分の知っている曲や活動であてはまるものがあるかを常に考えて記録するようにしましょう。 【この科目で求める望ましい授業外の総学習時間：60時間】						
受講学生へのメッセージ	授業内で課題を出し、GoogleFormで回答してもらいます。よい意見があれば授業内で紹介することもあります。(個人名は出しません。) オフィスアワーは毎週火曜日の13時～14時に研究室で行ないます。						

【9L4L103】美術入門		教養科目		1年後期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	加藤 誉使子						
資格・制限等	歯科衛生学科 選択必修						
実務家教員	高等学校美術科教諭28年						
授業方法	power pointによる画像資料やプリントを用いた講義形式を基本として、適宜、個人および集団活動でのワークショップなどのアクティブ・ラーニングを取り入れた授業を行います。ICTを活用したコメント提出とフィードバックを毎時行います。						
到達目標	知識・理解	通史とテーマによる縦横断的な捉え方で西洋及び日本美術史を学び、歴史的な意味と表現の特徴、作品の意義を理解できるとともに、客観的造形的鑑賞法を学び、理解し活用することができる。					
	思考・判断・表現	美術作品の歴史的背景を知り、客観的な判断に基づいた鑑賞法による作品理解を踏まえ、自身の観点や意見を思考し表現することができる。					
	技能	美術史および鑑賞法を学ぶことを通して美術作品を読み解く力を身に付け、コミュニケーション手段とすることができる。					
	関心・意欲・態度	美術史及び美術作品、ワークなどに対し興味を持って対峙するとともに、積極的に美術に触れようとする事ができる。					
	備考	・○・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	西洋美術及び日本美術史について、各回ごとのテーマを切り口として美術作品理解と歴史的理解をし、美術作品鑑賞法を学ぶとともに、現代社会に生きる私たちとの結びつきを考え、アートを楽しみ豊かに生きる教養を身に付けます。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		20	20	10	5	55
	課題提出		10	10	10	-	30
	受講態度		-	-	-	15	15
	合計(点)		30	30	20	20	100
評価の特記事項	課題提出は、各授業内に行うワークシート（授業終了時提出）と、各授業終了時（指定する期日までに提出）に入力するリフレクションシートのことです。5回以上欠席した場合、筆記試験の受験資格はありません。						
ICT活用	各授業後のリフレクションシートの提出を、googleフォームを活用して行います。						
アクティブ・ラーニングの活用	ワークショップ（個人、グループワーク）						
課題に対するフィードバック	ワークシートや、google formにより提出された意見を次の授業時に共有するとともに、質問に対して解説します。						
テキスト							
参考書・教材							
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス・イントロダクション（授業の目標や学ぶ内容の概要を理解し、現代社会と美術の関わり、作品の鑑賞方法について学ぶ。）、ワークショップ [課題（復習）(他)]google formによる授業（授業概要、現代社会と美術、作品の鑑賞方法）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)、鑑賞活動は、随時授業および定期試験で活用する。（以降同様）						
2	ざっくり西洋美術史（西洋美術の通史を概観し、理解する。）、ワークショップ [課題（復習）(他)]google formによる授業（西洋美術通史）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)						
3	ギリシア神話をテーマ・モチーフにした西洋美術（西洋美術の主要テーマであるギリシア神話を切り口として横断的に学ぶとともに、通史との関連を理解する。）、ワークショップ [課題（復習）(他)]google formによる授業（西洋美術・ギリシア神話美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)						
4	キリスト教をテーマ・モチーフにした西洋美術（西洋美術の主要テーマであるキリスト教を切り口として横断的に学ぶとともに、通史との関連を理解する。）、ワークショップ [課題（復習）(他)]google formによる授業（西洋美術・キリスト教美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)						
5	肖像・人物をテーマ・モチーフにした西洋美術(西洋美術における人物をモチーフとした作品を切り口として横断的に学ぶとともに、その意味及び通史との関連を理解する。）、ワークショップ [課題（復習）(他)]google formによる授業（西洋美術・人物の美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)						
6	風景をテーマ・モチーフにした西洋美術(西洋美術における風景をモチーフとした作品を切り口として横断的に学ぶとともに、その意味及び通史との関連を理解する。）、ワークショップ [課題（復習）(他)]google formによる授業（西洋美術・風景の美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)						
7	静物をテーマ・モチーフにした西洋美術（西洋美術における静物をモチーフとした作品を切り口として横断的に学ぶとともに、その意味及び通史との関連を理解する。）、ワークショップ [課題（復習）]google formによる授業（西洋美術・静物の美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)						
8	ざっくり日本美術史(日本美術の通史を概観し、理解する。）、ワークショップ [課題（復習）(他)]google formによる授業（日本美術通史）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)						
9	ほとけ様の世界・日本美術（日本美術の主要テーマである仏教を切り口として横断的に学ぶとともに、通史との関連を理解する。）、ワークショップ [課題（復習）(他)]google formによる授業（日本美術・仏教の美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
10	絵巻物と浮世絵の世界・日本美術（日本美術特有の表現形式である絵巻物と浮世絵について学ぶとともに、通史との関連を理解する。）、ワークショップ [課題（復習）(他)]google formによる授業（日本美術・絵巻物浮世絵）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)
11	生活美術の世界～原始から現代～・日本美術（土偶、埴輪など芸術表現に留まらない、生活に密接した造形や意匠について学ぶとともに、通史との関連を理解する。）、ワークショップ [課題（復習）(他)]google formによる授業（日本美術・生活の美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)
12	上手いアート・西洋美術日本美術（傑出した「上手さ」を切り口として古今東西のアート作品を検証し、美に対する思考を深める。）、ワークショップ [課題（復習）(他)]google formによる授業（「上手さ」の美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)
13	かわいいアート・西洋美術日本美術（傑出した「かわいさ」を切り口として古今東西のアート作品を検証し、美に対する思考を深める。）、ワークショップ [課題（復習）(他)]google formによる授業（「かわいさ」の美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)
14	価値観を変革するアート・西洋美術日本美術（「価値観を変革する」を切り口として古今東西のアート作品を検証し、美に対する思考を深める。）、ワークショップ [課題（復習）(他)]google formによる授業（「価値観を変革する」美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)
15	現代美術とこれからのアート～ダイバーシティ社会の中で～（美術史を踏まえた現代美術の理解と、アートの価値と社会の在り方について思考を深める。）、ワークショップ [課題（復習）(他)]google formによる授業（現代美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)
時間外での学修	美術作品を、美術館やギャラリーで実見したり、メディアを活用して美術鑑賞の機会を持ち、授業で学んだ内容について実践的発展的な学習を行ってください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】
受講学生へのメッセージ	アートは感性で見ると捉えられがちですが、決してそれだけではなく、鑑賞法や知識を学ぶことで自ら読み解くことができるようになり理解が深まります。アートを楽しみながら学ぶ中で、ダイバーシティ社会に生きる人としての教養を身につけ、豊かさとは何かを考える一助となることを期待します。 オフィスアワー【水曜日10:30～10:50（講義室または非常勤講師控室）】

【9L4L204】スポーツ演習		教養科目		1年前期		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	垣添 忠厚					
資格・制限等	特になし					
実務家教員	垣添忠厚：公立学校（23年）					
授業方法	この授業は、実技中心の個人やグループでの演習になります。第8・15回は実技試験（体力測定・表現）となります。					
到達目標	知識・理解	ゲームやニュースポーツ等のルールや特徴、仲間づくりの要素を理解し、レクリエーションに取り組むことができる。				
	思考・判断・表現	健康的な生活習慣を確立させるための、ゲームやニュースポーツの日常生活での活用について考えることができる。				
	技能	ゲームやニュースポーツの楽しさを十分に体験し、自分の持っている運動機能を発揮することができる。				
	関心・意欲・態度	自分の体について興味関心を持ち、自己課題をもって積極的に体力づくりやゲーム、ニュースポーツに参加することができる。				
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	楽しみながらできるエクササイズ（トレーニング）や体を動かすレクリエーション（ゲーム・ニュースポーツ）を通して、仲間とのコミュニケーション力を高めるとともに、適度な運動量を確保した健康づくりに取り組みます。自身の体力の状態を把握し、健康のための自己課題を理解し、健康的な生活習慣の確立をねらいます。また、仲間と楽しく活動に取り組むことを大切に、心と体の元気づくりを目指します。なお、音楽総合学科音楽療法コースの学生で「レクリエーション・インストラクター」の資格取得を目指す場合はこの科目の履修が必修になります。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	レポート（毎回）	20	10	-	-	30
	実技試験（2回）	-	5	20	-	25
	自己評価（毎回）	-	10	-	10	20
	授業態度・様相	-	-	10	15	25
合計(点)	20	25	30	25	100	
評価の特記事項	実技試験は、体力測定（抜粋）とリズムダンス（課題曲）とし授業内で実施します。日常的な健康づくりの視点をもって、自己の体力の状況を分析し、継続的に楽しく運動に取り組む過程を評価します。					
ICT活用	オープンな教育リソース（動画教材等）を活用して、体力づくりやゲームの動作やルールが理解しやすいようにします。					
アクティブ・ラーニングの活用	少人数グループでのワークを軸に授業を展開し、学生らが励まし合い、考えを出し合いながら運動やゲームに取り組めるようにします。					
課題に対するフィードバック	レポートの内容をまとめ、次の授業内で共有します。					
テキスト						
参考書・教材						
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス（授業内容の説明）・レクリエーションを通じた仲間づくり [課題（復習）]授業計画を把握し、個人の健康課題を作成する。（1h～2h）					
2	準備運動およびエクササイズ（ストレッチ）・アイスブレイキング（子どもの頃の遊び） [課題（復習）]準備運動として取り組むミナモ体操を練習し覚える。（1h～2h）					
3	準備運動およびエクササイズ（ウォーキング）・アイスブレイキング（ジャンケンゲーム） [課題（復習）]日常生活でのエクササイズの活用について考える。（1h～2h）					
4	準備運動およびエクササイズ（リズムダンス）・アイスブレイキング（反応ゲーム） [課題（復習）]3曲のダンス課題から1曲を選び定期的に練習する。（1h～2h）					
5	準備運動およびエクササイズ（リズムダンス）・アイスブレイキング（新聞紙を使ったゲーム） [課題（復習）]仲間づくりや健康的な体づくりの要素を、レポートにまとめる。（1h～2h）					
6	準備運動およびエクササイズ（体幹トレーニング1）・ニュースポーツ（ドッジビーまたはフライングディスク）のルールの理解と体験 [課題（復習）]取り組んだニュースポーツや運動の特徴と楽しみ方をレポートにまとめる。（1h～2h）					
7	準備運動およびリズムダンス（体幹トレーニング2）・ニュースポーツ（ニチレクボールまたはポッチャ）のルールの理解と体験 [課題（復習）]取り組んだニュースポーツや運動の特徴と楽しみ方をレポートにまとめる。（1h～2h）					
8	（実技試験）体力測定 ・グループで文科省による体力テスト（抜粋）を実施する。 [課題（復習）]体力測定の結果を分析し、自己の健康課題についてレポートにまとめる。（1h～2h）					
9	・準備運動、ニュースポーツ（キンボール）のルールの理解とグループ対抗戦 [課題（復習）]取り組んだスポーツや運動の特徴と楽しみ方をレポートにまとめる。（1h～2h）					
10	・準備運動、ニュースポーツ（インディアカ等）ルールの理解とゲーム [課題（復習）]取り組んだスポーツや運動の特徴と楽しみ方をレポートにまとめる。（1h～2h）					
11	・準備運動、レクリエーションスポーツ（モルック）のルールの理解とゲーム [課題（復習）]取り組んだスポーツや運動の特徴と楽しみ方をレポートにまとめる。（1h～2h）					
12	・準備運動、身近なスポーツ（卓球）のルールの理解とゲーム [課題（復習）]取り組んだスポーツや運動の特徴と楽しみ方をレポートにまとめる。（1h～2h）					
13	・準備運動、レクリエーション体験（仲間づくりとスティック・ザ・キャッチ等）、課題ダンスグループ練習1 [課題（復習）]体験したレクリエーションを通じた仲間づくりやゲームの楽しみ方をレポートにまとめる。（1h～2h）					
14	・準備運動、レクリエーション体験（仲間づくりとラダーゲッター等）、課題ダンスグループ練習2 [課題（復習）]体験したレクリエーションを通じた仲間づくりやゲームの楽しみ方をレポートにまとめる。（1h～2h）					

内容	
実施回	授業内容・目標
15	リズムダンス(実技試験)・まとめ <ul style="list-style-type: none"> ・課題曲3曲の実技試験を行う。 ・スポーツ演習を通して学んだことを健康の視点から考え、グループで意見交流する。 [課題(復習)]科目で学んだことから、自己の健康課題と今後の取り組みについてまとめる。(1h~2h)
時間外での学修	毎時間の授業内容を把握し、体調管理に気を配る生活を心がけてください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30時間】
受講学生へのメッセージ	スポーツのおもしろさや達成感を十分に体験できるよう意欲的に取り組んでください。 安全には十分に注意し、運動のできる服装と体育館シューズを必ず着用してください。 オフィスアワーは研究室(H203:H号館)で毎週金曜日の12:15~12:45です。

【9L4L205】スポーツ演習		教養科目		1年後期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	垣添 忠厚						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業方法	スポーツやレクリエーションゲームを通して、心と体の健康づくりを学びます。また、受講生同士の交流を深めるために、少人数によるグループで活動します。仲間とともに楽しく元氣よく体を動かし、体力の維持、向上を目指すとともに、自身の生活習慣を見直します。第8回及び第15回は実技試験（体力測定・課題ダンス）となります。15回全て体育館等での実技となります。運動着と上靴が必要になります。						
到達目標	知識・理解	レクリエーションゲームやスポーツのルールや特徴を理解することができる。					
	思考・判断・表現	ゲームやスポーツを楽しみながら取り組むための要素を考えることができる。					
	技能	スポーツやゲームのおもしろさを十分に体験し、各種ゲームを通じて仲間と協力しながら体力や技能の向上を目指すことができる。					
	関心・意欲・態度	自分の体についてよく理解し、興味関心を持ち、健康的な生活習慣を確立させるよう積極的に運動やスポーツに関わることができる。					
	備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達指標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	親しみやすいエクササイズやスポーツを通して、集団意識と協調性を高めながら健康的な体づくりのために基礎体力の向上を目指し学修します。楽しみながらスポーツに取り組むことで、日常生活における主体的な運動機会につなげ、健康的な生活習慣を確立させることがねらいです。						
観点別評価		評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	受講態度・様相	-	-	10	20	30	
	実技試験(体力測定・課題ダン)	-	-	20	-	20	
	レポート(毎回)	20	10	-	-	30	
	レポート(まとめ)	-	10	-	10	20	
	合計(点)	20	20	30	30	100	
評価の特記事項	運動技能だけでなく、スポーツの特徴や楽しみ方など、意欲的に取り組む姿勢に重点を置いています。実技試験は、体力測定（抜粋）とリズムダンス（自由課題）とし授業内で実施します。日常的な健康づくりの視点をもって、自己の体力の状況を分析し、継続的に楽しく運動に取り組む過程を評価します。						
ICT活用	オープンな教育リソースを活用して、スポーツのルールや特徴を理解します。						
アクティブ・ラーニングの活用	小グループでのワークを軸に授業を展開し、グループ内で工夫しながら運動に取り組めるようにします。						
課題に対するフィードバック	毎時のレポートから見本となるコメントを共有します。						
テキスト							
参考書・教材							
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス（授業内容の説明）、準備運動、アイスブレイキング、ドッジボール [課題（復習）]授業内容を把握する。（1h～2h）						
2	エクササイズ、アイスブレイキング1、仲間づくりのゲーム [課題（予習）]仲間づくりに必要な要素をレポートにまとめる。（1h～2h）						
3	エクササイズ、アイスブレイキング2、レクリエーションゲーム、課題ダンス決め [課題（復習）]レクリエーションゲームを振り返り、成果と課題をレポートにまとめる。（1h～2h）						
4	ソフトバレーボール（練習・練習試合） [課題（予習）]ソフトバレーボールのルールを理解し、作戦をレポートにまとめる。（1h～2h）						
5	ソフトバレーボール（試合） [課題（復習）]ソフトバレーボールの試合を振り返り、成果と課題をレポートにまとめる。（1h～2h）						
6	バスケットボール（練習・練習試合） [課題（予習）]バスケットボールのルールを理解し、作戦をレポートにまとめる。（1h～2h）						
7	バスケットボール（試合） [課題（復習）]バスケットボールの試合を振り返り、成果と課題をレポートにまとめる。（1h～2h）						
8	体力測定（実技試験） [課題（復習）]自分の体力について知り、生活習慣の見直しをする。（1h～2h）						
9	キンボール（ルール理解・練習試合） [課題（復習）]キンボールの特徴を理解し、作戦を立てる。（1h～2h）						
10	キンボール（試合） [課題（復習）]キンボールの試合を振り返り、成果と課題をレポートにまとめる。（1h～2h）						
11	バドミントン（ルール理解・練習試合） [課題（復習）]バドミントンの特徴を理解し、作戦をレポートにまとめる。（1h～2h）						
12	バドミントン・ダブルス（試合） [課題（復習）]バドミントンの試合を振り返り、成果と課題をレポートにまとめる。（1h～2h）						
13	卓球（ルール理解・練習・試合） [課題（復習）]卓球の特徴を理解し、作戦をレポートにまとめる。（1h～2h）						
14	リズムダンスの練習 [課題（復習）]実技試験に向け、ダンス等の練習をする。（1h～2h）						
15	（実技試験）リズムダンス（グループでの発表） [課題（復習）]今後の自己の健康づくりについて、レポートにまとめる。（1h～2h）						
時間外での学修	毎時間の授業内容を把握し、体調管理に気を配る生活を心がけてください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30時間】						
受講学生へのメッセージ	スポーツのおもしろさや達成感を十分に体験できるよう意欲的に取り組んでください。安全には十分注意し、運動のできる服装と体育館シューズを必ず着用してください。運動着や体育館シューズは、高校時に使用したもので大丈夫です。 オフィスアワーは研究室（H203：H号館）で毎週金曜日の12：15～12：45です。						

【9L4L306】体育		教養科目		1年前期		
		1単位	必修	実技	45時間	
教員	垣添 忠厚					
資格・制限等	特になし					
実務家教員	垣添忠厚（公立学校23年）					
授業方法	第1回～15回の授業は、当日の種目をグループまたは個人で実施します。種目によって競技に発展することがあります。第16回の体力測定は、実技試験となります。第17回～21回の授業は、ダンスの基本的な動きを習得し、グループに分かれて創作ダンスを完成させます。第22回は、グループでの創作ダンスの発表なり、実技試験となります。					
到達目標	知識・理解	体力づくりを心がけ、体育のおもしろさを十分に体験することができる。				
	思考・判断・表現	集団活動のなかで自分の役割を把握し、集団意識を高めながらスポーツに参加することができる				
	技能	創作ダンスについて理解し、テーマに沿った創作ダンスの発表ができる。				
	関心・意欲・態度	自己の体力について知ることで、生活スタイルの気づきや見直しができる。				
	備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達指標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	第1回～第15回の授業では、親しみやすいスポーツとして「ニュースポーツ」を中心に基礎体力づくりを目指し実施します。定期的に運動を行うことで健康的な生活習慣の確立を目指します。16回は体力測定を行います。17～22回の授業では、コミュニケーションを図りながら集団意識を高めるために創作ダンスを実施します。仲間意識を大切に、一つの作品を完成させて発表することがねらいです。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	レポート(毎回)	35	-	-	-	35
	自己評価(毎回)	-	20	-	-	20
	実技(1回)・発表(1回)	-	-	20	-	20
	受講態度	-	-	-	25	25
合計(点)	35	20	20	25	100	
評価の特記事項	運動技能だけでなく、スポーツの特徴や楽しみ方など、意欲的に取り組む姿勢に重点を置いています。実技試験は、体力測定(抜粋)とリズムダンス(自由課題)とし授業内で実施します。日常的な健康づくりの視点をもって、自己の体力の状況を分析し、継続的に楽しく運動に取り組む過程を評価します。					
ICT活用	オンデマンド教材等によりゲーム等の理解のための視覚支援教材として活用します。					
アクティブラーニングの活用	グループでのワークを軸に授業を展開し、互いに意見を出し合ったり、励まし合ったりして、ゲームや運動、創作活動に取り組めるようにします。					
課題に対するフィードバック	毎回のレポート提出の内容をまとめ、次の授業の中で学修成果を共有します。					
テキスト						
参考書・教材	幼稚園教育要領解説、保育所保育指針、幼児体育、必要に応じて資料を配付します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	オリエンテーション(授業内容の説明)・健康のための運動の役割、ストレッチ [課題(復習)]健康のための運動の大切さを理解し、運動習慣としての運動計画を立てる。(1h～2h)					
2	準備運動：ミナモ体操、ミナモダンスを覚える。 [課題(復習)]継続的にミナモ体操、ミナモダンスを練習する。(1h～2h)					
3	アイスブレイキング1：集団のコミュニケーションを図るレクリエーションを実践しグループの親睦を図る。 [課題(復習)]集団のコミュニケーションで大切な要素をレポートにまとめる。(1h～2h)					
4	アイスブレイキング2：準備運動として有効なレクリエーションを実践し怪我のない体力づくりを図る。 [課題(復習)]主体的に準備運動に取り組めるレクリエーションについてレポートにまとめる。(1h～2h)					
5	アイスブレイキング3：表現力を高めるレクリエーションを実践し、主体的に活動しやすい雰囲気をつくる。 [課題(復習)]信頼づくりのための表現についてレポートにまとめる					
6	インディアカ(チーム編成・練習)：ゲームの流れを理解し、チームで練習した後、練習試合をする。 [課題(復習)]インディアカのゲームの特徴を振り返り、レポートにまとめる。(1h～2h)					
7	インディアカ(試合)：チームで練習した後、試合をする。 [課題(復習)]インディアカのゲームを楽しく展開するための要素をレポートにまとめる。(1h～2h)					
8	ソフトバレーボール(ルール確認・練習)：ゲームの流れを理解し、チームで練習した後、練習試合をする。 [課題(復習)]ソフトバレーボールのゲームの特徴を振り返り、レポートにまとめる。(1h～2h)					
9	ソフトバレーボール(試合)：各チームで審判、対戦の手順を確認しゲームを行う。 [課題(復習)]ソフトバレーボールのゲームを楽しく展開するための要素をレポートにまとめる。(1h～2h)					
10	バスケットボール(ルール確認・練習)：ゲームの流れを理解し、チームで練習した後、練習試合をする。 [課題(復習)]バスケットボールのゲームの特徴を振り返り、レポートにまとめる。					
11	バスケットボール(試合)：各チームで審判、対戦の手順を確認しゲームを行う。 [課題(復習)]バスケットボールのゲームを楽しく展開するための要素をレポートにまとめる。(1h～2h)					
12	バドミントン(ルール確認・練習)：ゲームの流れを理解し、チームで練習した後、練習試合をする。 [課題(復習)]バドミントンのゲームの特徴を振り返り、レポートにまとめる。(1h～2h)					
13	バドミントン(試合)：各チームで審判、対戦の手順を確認しゲームを行う。 [課題(復習)]バドミントンのゲームを楽しく展開するための要素をレポートにまとめる。(1h～2h)					
14	キンボール(ルール確認・練習)：ゲームの流れを理解し、チームで練習した後、練習試合をする。 [課題(復習)]キンボールのゲームの特徴を振り返り、レポートにまとめる。(1h～2h)					
15	キンボール(試合)：各チームで審判、対戦の手順を確認しゲームを行う。 [課題(復習)]キンボールのゲームを楽しく展開するための要素をレポートにまとめる。(1h～2h)					
16	体力測定：幼児向けの体力測定の方法を知り実践する。 [課題(復習)]自分の体力について知り、生活習慣の見直しをする。(1h～2h)					

内容	
実施回	授業内容・目標
17	創作ダンス1(グループワーク)：創作ダンスの制作手順を確認し、テーマとストーリーを話し合う。 [課題(復習)]創作ダンスのイメージをつかみ、テーマとストーリーを表現する楽曲の候補案を探す。 (1h~2h)
18	創作ダンス2(グループワーク)：テーマとストーリーを決め楽曲を選曲し、今後の練習計画を立てる。 [課題(復習)]楽曲に応じた振り付けパターンを考える。(1h~2h)
19	創作ダンス3(グループワーク)：振付の構成を決め、ダンスの一連の流れを完成させる。 [課題(予習)]ダンスに取り入れる振付の案を考える。(1h~2h)
20	創作ダンス4(グループワーク)：フォーメーションの構成を仕上げる。 [課題(復習)]発表に向けて練習をする。(1h~2h)
21	創作ダンス5(グループワーク)：構成を見直し仕上げ、発表に向け練習する。 [課題(予習)]発表の最終確認をし、準備する。(1h~2h)
22	創作ダンス6(発表)：舞台発表を行い互いに評価する。 [課題(復習)]発表を振り返り、レポートにまとめる。(1h~2h)
時間外での学修	毎時間の授業内容を把握し、体調管理に気を配る生活を心がけてください。 また、発表に向けてグループ練習を積極的に実施してください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：45時間】
受講学生へのメッセージ	スポーツのおもしろさや達成感を十分に体験できるよう意欲的に取り組んでください。安全には十分注意(熱中症対策は各自準備すること)してください。運動のできる服装と体育館シューズを必ず着用してください。運動着や体育館シューズは、高校のときに使用したもので構いません。 オフィスアワーは研究室(H203:H号館)で毎週金曜日の12:15~12:45です。

【9L4L107】体育		教養科目		1年前期			
		1単位	必修	講義	15時間		
教員	垣添 忠厚						
資格・制限等	特になし						
実務家教員	垣添忠厚（公立学校23年）						
授業方法	全て講義となります。図書館等を利用し各自のテーマに合わせて、調査・追求したことをまとめて発表します。						
到達目標	知識・理解	健康について理解し発表することができる。					
	思考・判断・表現	課題を作成し、提出することができる。					
	技能	自分自身のライフスタイルの見直しができる。					
	関心・意欲・態度	計画的に学修する姿勢がみられる。					
	備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	健康は、充実した生活を送るために不可欠となる要因のひとつです。より良い健康的な生活を送るために、自分自身の生活習慣を見直し、健康についてテーマを設定し、自己の健康課題と解決方法をまとめポスターにします。最終的にポスター発表を行い、学生同士で学修を交流します。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	レポート(毎回)		30	-	-	-	30
	ワークシート		-	30	-	-	30
	発表(1回)		-	-	10	-	10
	ポスター		-	-	10	-	10
	受講態度		-	-	-	20	20
合計(点)		30	30	20	20	100	
評価の特記事項							
ICT活用	インターネットを活用した調査を行います。						
アクティブ・ラーニングの活用	自己の生活習慣の見直しから各自のテーマを設定した課題解決型の授業を展開します。						
課題に対するフィードバック	自己課題の発表を行い、互いに評価します。						
テキスト							
参考書・教材	幼稚園教育要領解説、保育所保育指針、幼児体育資料は、必要に応じて配付します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス、ライフスタイルの見直し [課題(復習)]ライフスタイルについて見直したことをまとめ、今後の計画をする。(4h~6h)						
2	テーマについて(発表の計画) [課題(復習)]テーマについて理解し発表に向けた計画をまとめる。(4h~6h)						
3	発表準備1(テーマに沿った内容を調べ、発表に向けた準備をする) [課題(復習)]生活習慣について見直し、生活リズムの改善を試みる。(4h~6h)						
4	発表準備2(調べた内容から具体的なテーマを決め、提案内容をさらに調べ整理する。) [課題(復習)]日々の生活の中で正しい姿勢を心がける。(4h~6h)						
5	発表準備確認1(発表に向けた内容をまとめ、確認する) [課題(復習)]本時の内容についてノートにまとめる。(4h~6h)						
6	発表準備確認2(確認した内容をポスターにし、発表の段取りをする) [課題(復習)]発表の段取りをまとめる。(4h~6h)						
7	ポスター発表の練習(発表の原稿を確認し、発表の練習をペアで行う) [課題(復習)]課題提出に向けてノートをまとめる。(4h~6h)						
8	ポスター発表と振り返り [課題(復習)]発表の振り返りと課題提出に向けてノートをまとめる。(4h~6h)						
時間外での学修	運動と健康の大切さを意識し、自分の生活スタイルの見直しに心がけてください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30時間】						
受講学生へのメッセージ	毎時間の授業の中でメモを取ることを忘れず、自分の生活スタイルに役立てるよう集中して受講してください。 オフィスアワーは研究室(H203:H号館)で毎週金曜日の12:15~12:45です。						

【9L5L201】情報科学		教養科目		1年前期		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	伊藤 和典					
資格・制限等	幼児教育学科 卒業必修					
実務家教員	小中学校教員 3 7 年					
授業方法	テキストを活用した講義およびパソコンを利用した演習					
到達目標	知識・理解	コンピュータ機器及びWord, Excel 及びPowerpointの基本的な操作方法が理解できる。 データサイエンス・A I による社会の現状と未来への展望・課題を理解できる。 情報セキュリティ・ネットワーク概要について理解できる。				
	思考・判断・表現	Word：目的に応じたわかりやすく整った文書が作成できる。 Excel：書式の設定、基本的な式や関数の使用、効果的なグラフの選択・作成ができる。 PowerPoint：目的に応じた簡単なプレゼンテーション資料の作成ができる。 プライバシー等に配慮したデータの利活用のあり方について考えることができる。				
	技能	Word：指定された文書を素早く作成できる。レイアウトを考えて実用的な文書が作成できる。 Excel：示された課題を素早く正確にデータ処理できる。 Powerpoint：指定された課題にあったプレゼンテーション資料が作成できる。				
	関心・意欲・態度	意欲的に課題・演習に取り組むことができる。 コンピュータ操作、Word、Excel、PowerPoint等の操作を進んで取得しようとする。 Society5.0社会の進展に関心を持ち、データサイエンスの基礎知識の習得に意欲的に取り組むことができる。 授業中に完成できなかった練習問題及び課題は次週までに仕上げようとする。				
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	本学での学修や就職後の仕事の中で、情報技術（I C T）を活用するための基礎的な知識と技術の修得及び Society5.0社会で通用するデータサイエンスの基礎知識の修得を目標とします。Word・Excel・PowerPointの基本的な機能を理解して、文書作成や表計算機能を生かした簡単なデータ処理、表現力の基礎を身に付けるプレゼンテーションができることを目的として、演習を交えて学修をすすめていきます。また、インターネットの利活用が日常化するなかで、情報セキュリティやネットワーク上の留意点等を正しく理解し、適切な情報活用能力を身につけるための事柄についても学修します。					
観点別評価	評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	テスト(情報セキュリティ・著作権含む)	25	-	-	-	25
	Word課題・提出	-	10	10	-	20
	Excel課題・提出	-	10	10	-	20
	Powerpoint課題・提出	-	10	10	-	20
	受講態度(タイピングを含む)	-	-	5	10	15
	合計(点)	25	30	35	10	100
評価の特記事項	Word課題提出：第6回に実施 Excel課題提出：第10回に実施 Powerpoint課題提出：第14回に実施 試験：第15回目に情報セキュリティを含むテストを実施 受講態度：毎回					
I C T 活用	Googleclassroomを効果的に活用し、情報セキュリティ講話や演習例について、解説を加えながら学修が展開できるようにします。毎時間の振り返りは、Googleformsを利用するとともに、質問等にはGメールやgoogleclassroomでのメッセージで応えます。					
アクティブ・ラーニングの活用	プレゼンテーション					
課題に対するフィードバック	課題提出は、Googleclassroomを活用してデジタルデータを提出し、コメントを加えて返却します。修正箇所がある場合は、再提出が的確にできるように、適宜アドバイスを加え、自学できるように支援していきます。					
テキスト	『情報リテラシー（入門編）』FOM出版株式会社(1,100円)ISBN:978-4-938927-54-7					
参考書・教材	USBフラッシュメモリーを各自準備してください。(学友会から配布されるものでよい)					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	授業ガイダンス 学内P C及びネットワーク利用上の留意点、Windowsの基本操作、マウス操作とタッチ操作等の基礎的内容の理解 「社会で起きている変化」情報を使いこなす社会、I o Tの進展、データを取り扱う際の注意点 [課題(復習)]学んだ内容を復習・確認し、パソコン、ネットワークを正しく使えるようになる。(1h)					
2	情報化社会の進展とネット社会の情報の安全な使い方：情報化社会のモラルとセキュリティ、個人情報の適切な取り扱いについて Wordの学修：Wordの画面構成や用語、基本操作（簡単な文書作成、保存） キーボード操作(ローマ字入力、日本語変換) 「データサイエンスの重要性・必然性」社会でどんなデータが集められ、どう活用されているか、データを守る上での留意事項 [課題(復習)]情報セキュリティ、個人情報の扱いについて正しく理解する。(1h)					
3	ネット社会の情報の安全な使い方 -2: Wordの学修：ページ設定、文書の修飾(フォント、下線、網かけ、レイアウト、等々)機能の活用 [課題(復習)]Wordの基本操作、キーボード操作がスムーズにできるようにする。(2h)					
4	ネット社会の情報の安全な使い方 -3: Wordの学修：文章の修飾(クリップアート、ワードアート、図・画像の挿入、ページ罫線)機能を活用した文書作成 [課題(復習)]Wordの基本操作、編集機能(フォント、レイアウト)を復習する。(2h)					
5	ネット社会の情報の安全な使い方 -1: Wordの学修：やや高度な文書編集(ページ番号、ヘッダー・フッター、段落、文字列の検索・置換) [課題(復習)]編集機能(クリップアート、図の挿入)を復習する。(2h)					
6	ネット社会の情報の安全な使い方 -2: Wordの学修：学修した内容を活用した練習問題 [課題提出] [課題(復習)]学修した様々な編集機能を復習する。(2h)					

内容	
実施回	授業内容・目標
7	ネット社会の情報の安全な使い方 -3: Excel の学修 : Excel の画面構成や用語、基本操作(データの入力、修正・消去、ブックの保存) 「社会で活用されているデータ」ビッグデータをはじめとする様々なデータの活用例、データの利活用の現場 【課題(復習)]Excelの基本操作、データ入力ができる。(1h)
8	ネット社会の情報の安全な使い方 -4 Excel の学修 : 表(数表)の作成(関数の取り扱い、文字の装飾、行・列の加工、等々) 「社会で活用されているデータ」データ・AI活用のための技術、データ・AI活用の最新動向 【課題(復習)]Excelの基本入力ができ、書式を整えた表の作成ができる。(1h)
9	ネット社会の情報の安全な使い方 -5 Excel の学修 : 入力データ処理をもとにした簡単なグラフ作成 【課題(復習)]Excelのグラフ機能を使ってグラフが作成できる。(2h)
10	ネット社会の情報の安全な使い方 -6 Excel の学修 : データ処理基礎(簡単なデータベース、フィルタ機能) 【課題提出】【課題(復習)]Excelの様々な機能を使うことができる。(2h)
11	ネット社会の情報の安全な使い方 -7 PowerPoint の学修 : スライド作成の基本(文字入力、スライドの挿入・削除・置換) 【課題(復習)]Powerpointの基本を理解し、数枚のスライド作成ができる。(2h)
12	PowerPoint の学修 : スライド作成の基本(図表・画像の挿入)を踏まえて相手にわかりやすいスライドの作成 【課題(復習)]Powerpointの基本を理解し、相手に伝わるスライドの作成ができるようにする。(2h)
13	PowerPoint の学修 : スライド作成の応用(アニメーション効果)を使って、相手にわかりやすいスライドの作成 【課題(復習)]Powerpointの様々な効果を使って、相手に伝わるスライドの作成ができるようにする。(2h)
14	PowerPoint の学修 : プレゼンテーション作品交流: グループごとに作品交流を良い点、改善点を意見交流 【課題提出】【課題(復習)]プレゼンテーション作品を振り返り、よりよい作品づくりへの改善点を考える。(1h)
15	全体のまとめ: 情報セキュリティを含むテスト。 Word、Excel、Powerpointのまとめ 学修を終えて、自身の学びの振り返り 【課題(復習)]まとめの課題が完成できなかったものを完成させる。(2h)
時間外での学修	授業時間内にできなかった課題、練習問題等は次の時間までに仕上げておきましょう。また、復習をして、次の授業で遅れを出さないように心がけましょう。欠席した場合は、シラバスを参考に授業内容を確認し、自習しておきましょう。学内・自宅で空き時間を見つけて積極的にPCを使用し、基本的な技能をマスターしましょう。キーボード入力が苦手な人は、進んでタイピング練習をしましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間2.5時間】
受講学生へのメッセージ	演習課題には積極的に取り組みましょう。私語・私事は厳禁です。オフィスアワーは授業後のPC教室で行います。また、毎時間の振り返り(Googleforms)に質問事項を記入してもかまいません。キーボードでの文字入力には慣れておきましょう。Googleclassroomでのメッセージを確認するように心がけましょう。

【9L5L202】情報活用		教養科目		1年後期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	伊藤 和典						
資格・制限等	幼児教育学科 卒業必修、既修得科目による制限有り(情報科学)						
実務家教員	小中学校教員 3 7 年						
授業方法	講義およびデータ処理演習に加え、グループワークを取り入れて、プレゼンテーション能力を高める活動を取り入れて実施します。						
到達目標	知識・理解	情報活用やそのための情報機器に関する基本的な知識を身につけることができる。情報セキュリティ及び情報化社会への対応について理解し、情報倫理を説明することができる。 データサイエンス・A I による社会の現状と未来への展望・課題を理解できる。					
	思考・判断・表現	情報を活用することを通して、専門分野と関連する基本的な思考力や判断力、表現力を身につけることができる。インターネットを利用する上で、正しい判断をして社会人としてのマナーを守ることができる。					
	技能	アプリケーションソフトの特徴を生かして、応用活用できる技能を身につけることができる。情報機器を活用して課題・資料を作成することができる。データ分析の手法を身に付け、データが示す内容をわかりやすく表現することができる。					
	関心・意欲・態度	情報活用について興味や関心を持ち、意欲的に課題・演習に取り組むことができる。将来の社会的役割と結びつけながら活用する努力や工夫をして、学修に取り組むことができる。 Society5.0社会の未来社会に関心を持ち、データサイエンスの基礎の習得に意欲的に取り組むことができる。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	前期『情報科学』で学修した内容から一歩進んで、実用的な情報の活用方法と技術を学びます。文書作成や表計算、プレゼンテーションの発展的スキルを身につけることを目的として、演習を交えて学修をすすめていきます。また、数理・データサイエンス・A I 教育プログラムに基づき様々なデータを扱い、処理や分析方法の習得を目指すとともに、情報セキュリティや倫理等について正しく理解し、情報化社会に対応できる力を身につけていきます。さらに、社会で必要とされるプレゼンテーション能力を身につけるため、グループワークを交えてその能力の育成を目指します。						
観点別評価		評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	テスト(情報セキュリティ含む)		10	-	10	-	20
	課題制作		5	10	20	5	40
	制作物発表		-	20	10	5	35
	受講態度		-	-	-	5	5
		合計(点)	15	30	40	15	100
評価の特記事項	Word課題提出：第4回に実施 Excel課題提出：第10回に実施 Powerpoint課題提出：第14回に実施 筆記試験：定期試験期間に実施 受講態度：毎回						
I C T 活用	Googleclassroomを効果的に活用し、情報セキュリティ講話や演習例について、解説を加えながら学修が展開できるようにします。毎時間の振り返りは、Googleformsを利用するとともに、質問等にはGメールやgoogleclassroomでのメッセージで応えます。						
アクティブラーニングの活用	プレゼンテーション						
課題に対するフィードバック	課題提出は、Googleclassroomを活用してデジタルデータを提出し、コメントを加えて返却します。修正箇所がある場合は、再提出が的確にできるように、適宜アドバイスを加え、自学できるように支援していきます。						
テキスト	必要な資料は配付しますが、前期(情報科学)で使用したものを使用します。『情報リテラシー(入門編)』FOM出版株式会社(1,100円) ISBN: 978-4-86510-416-5						
参考書・教材	データ保存用に前期で使用したUSBフラッシュメモリーを用意してください。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	授業ガイダンス&ネット社会の情報の安全な使い方 -1 授業の目標と内容、学び方の確認 Wordの学修：Wordの書式設定(強制改頁、途中段組み)や長文レポートの編集の仕方 「データサイエンスの重要性・必然性」社会で活用されている様々なデータ、データ・A I 利活用の最新動向【再確認】 【課題(復習)】情報科学で学んだ基本的知識や技能を復習する(1 h)						
2	ネット社会の情報の安全な使い方 -2 Wordの学修：WordとExcelを効率良く活用する方法を理解し、Excelでの文書作成及び印刷 【課題(復習)】Wordの拡張的な活用方法及びExcelの印刷時の留意点について理解する。(2 h)						
3	ネット社会の情報の安全な使い方 -3 Wordの学修：印刷機能(差し込み印刷)を理解し、簡単なラベル印刷設定及びラベルの印刷 【課題(復習)】Excelデータを活用した差し込み方法及び印刷時の留意点について理解する。(2 h)						
4	ネット社会の情報の安全な使い方 -4 Wordの学修：選択課題から課題を決定し、習得した技能を生かした文書作成 【課題提出】【課題(復習)】Wordの様々な機能を活用して、効果的な文書を作成する。授業時間内に完成しなかった場合は、持ち帰って完成する。(2 h)						
5	ネット社会の情報の安全な使い方 -5 Excelの学修：基本的な関数(合計、平均、カウント、相対参照と絶対参照、小数点操作等)を用いたデータ処理及びデータ分析の仕方の理解、グラフ作成機能を使つてのデータ処理 「データを読む」データの種類、データの分布、代表値の性質の違い、データのばらつき、誤差の扱い 【課題(復習)】Excelの様々な機能を使うことができる。(2 h)						
6	ネット社会の情報の安全な使い方 -6 Excelの学修：データベース機能と関数を取り入れた表(数表)の作成と印刷 「データを読む」母集団と標本抽出、打ち切りや脱落を含むデータ、層別のないデータ 【課題(復習)】Excelの様々な機能を使うことができる。(2 h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
7	ネット社会の情報の安全な使い方 -7 Excelの学修 : 高度なデータ処理 (複数シートの操作) 「データを説明する」データ表現(棒グラフ、折れ線グラフ) 【課題(復習)]Excelの様々な機能を活用して、課題に取り組むことができる。授業時間内に完成しなかった場合は、持ち帰って完成する。(2h)
8	ネット社会の情報の安全な使い方 -8 Excelの学修 : 高度なデータ処理 (条件付け・順位付け) 「データを説明する」データの図表表現、データの比較、優れた可視化事例紹介 【課題(復習)]Excelの様々な機能を活用して、課題に取り組むことができる。授業時間内に完成しなかった場合は、持ち帰って完成する。(2h)
9	ネット社会の情報の安全な使い方 -9 Excelの学修 : より高度なデータ処理を活かしたグラフ作成 (複合グラフ) 「データを扱う」データの集計、データの並び替え、ランキング 【課題提出】 【課題(復習)]Excelの様々な機能を活用して、課題に取り組むことができる。授業時間内に完成しなかった場合は、持ち帰って完成する。(2h)
10	ネット社会の情報の安全な使い方 -10 Excelの学修 : より高度なデータ処理を活かしたグラフ作成 (複合グラフ&ピボットテーブル) 「データを扱う」データ解析ツール、表形式のデータ 【課題提出】 【課題(復習)]Excelの様々な機能を活用して、課題に取り組むことができる。授業時間内に完成しなかった場合は、持ち帰って完成する。(2h)
11	ネット社会の情報の安全な使い方 -11 プレゼンテーション資料の作成 実社会での活用をイメージしたテーマを設定と制作計画Powerpointでの資料作成 【課題(復習・準備)]自己のテーマを決定して、計画を完成させる。(2h)
12	ネット社会の情報の安全な使い方 -12 プレゼンテーション資料の作成 計画をもとに、必要となるデータや資料の収集とスライド制作 【課題(復習・予習)]計画に沿ってよりよい作品をめざして制作することができる。(2h)
13	プレゼンテーション資料の作成 作品を交流と相互評価活動1 改善点を見だし、スライド資料の改善制作 【課題(復習・予習)]改善点を明確にして、制作の改善をすることができる。(2h)
14	プレゼンテーション資料の作成 グループワークで協働作品の作成 進捗状況を交流し合いながらの制作 【課題提出】 【課題(復習・予習)]作成した作品をよりよいものにするために改善し、発表の準備をすることができる。(2h)
15	全体のまとめ: 情報セキュリティを含むテスト。 グループワークで作成したプレゼンテーション資料の発表 学修を終えての自身の学びの振り返り 【課題(復習)]制作物の提出と学んだ内容を総合的に復習する。(1h)
時間外での学修	授業時間内にできなかった課題、練習問題等は次の時間までに仕上げておくようにしてください。復習をして、次の授業で遅れを出さないように心がけましょう。学内・自宅で空き時間を見つけて積極的にPCを使用し、技能をマスターしましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間 2.5時間】
受講学生へのメッセージ	前期授業の「情報科学」における基礎的な操作を確実に復習するとともに、課題制作にあたっては、実社会で生かすことを想定して、自分なりの課題をもって取り組みましょう。オフィスアワーは授業後のPC教室で行います。

【9L5L2031】教養・キャリア基礎演習 (幼 児教育学科)		教養科目		1年前期			
		1単位	必修	演習	30時間		
教員	垣添 忠厚・光井 恵子・岡本 英通・川島 民子・大橋 淳子・名和 孝浩・立崎 博則・宮本 絢子						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業方法	内容により、講義形式または演習形式で行います。また、授業形態も全学単位・学科単位・クラス単位など毎時異なります。授業会場・準備するものなど掲示板で事前によく確認し受講してください。内容が変更になる場合は、事前に掲示板や学生ポータルでお知らせします。						
到達目標	知識・理解	専門分野の学びや職業・就労についての基本的知識と理解を高める。					
	思考・判断・表現	専門分野の学びや社会的・職業的自立に向けた進路選択のための課題解決などに必要な思考・判断・表現力を養う。					
	技能	専門分野の学びや社会人として必要なコミュニケーションやマナーについて学び、日常生活に生かす。					
	関心・意欲・態度	さまざまな課題に対して積極的に取り組む。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達指標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	短期大学での学びや社会人になるために必要な基礎的な知識、技能やコミュニケーション能力について多面的に学びます。また、将来保育者として必要とされる社会性や協調性についても学ぶとともに、社会的・職業的自立に向けて、自己認識と将来設計について考えます。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	学修記録ノート		15	15	15	15	60
	学修意欲・受講態度		5	5	5	5	20
	レポート		5	5	5	5	20
	合計(点)		25	25	25	25	100
評価の特記事項	学修記録ノートは、受講内容要約と考察の記入内容を評価します。 3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	授業内での演習活動等を通して、互いの意見を交流し、理解や思考を深めます。						
課題に対するフィードバック	学修記録の確認を行い授業内で共有します。						
テキスト							
参考書・教材	必要に応じて配付します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	基礎力リサーチ実施(スキルテスト+アンケート)：現時点での自分自身の基礎学力や学習習慣、学修への意欲等を把握する。 [課題(復習)]基礎力リサーチの内容を振り返り、理解が不十分だった分野を復習する。(1h)						
2	教養・キャリア基礎演習ガイダンス 自己理解について～自分の強みを見つけよう～ [課題]資料を基に、自己理解を深め自分の強みを見出して整理する。(1~2h)						
3	初年次教育スタートプログラム その1 初年次教育の概要(総合教育センター)：初年次教育の目的を理解し、短期大学における学修に必要なスキルについて学ぶ。 [課題(復習)]課題として出された作文を書く。(2h)						
4	初年次教育スタートプログラム その2 基礎ゼミ (担当教員)：4学科の学生によって構成された小グループで課題作文の発表等を行い、各学科の教育の特徴や大学生活について交流を行う。 [課題(復習)]授業で学んだことを振り返る。(1h)						
5	アカデミックスキル講座(西田先生)：大学における教養及び専門科目の受講における授業の受け方、レポートの書き方等についての講話を聴き、学修の取り組みに関わる基本的な知識を身につける。 [課題(復習)]講話で聴いた内容について自分でも調べてみる。(1~2h)						
6	基礎力リサーチ結果説明(総合教育センター)：個人帳票を見ながら振り返りワークシートを記入し、自分自身の学力・学習状況・行動特性を把握して今後の目標を立てる。 [課題(復習)]学習計画に基づき基礎力チャージ(補助教材)に取り組む。(1h)						
7	日本文化体験(大垣市郷土巡り調査)：大垣市の郷土や歴史などについて郷土巡りを通して学び、自己課題に合わせて調査内容をまとめる。 [課題]資料をまとめ、感想等をまとめる。(1h)						
8	社会人基礎力 コミュニケーションスキルアップ(日比千穂先生)：レクリエーションワークをとおして仲間との心のつながりと楽しさの共有し、コミュニケーションの大切さを実感するとともに、相手を大切にしようとする言葉のやりとりについて考えることができる。 [課題(復習)]他者とのコミュニケーションに大切な要素をまとめる。(1~2h)						
9	専門基礎演習 保育に生かす知識と技能 (幼児教育学科教員)：これまでに学んだ教養の知識や技能の保育場面への応用を考え、保育技術への発展について専門教員から学ぶ。 [課題(復習)]授業を振り返り記録し、出された課題に取り組む。(1h)						
10	専門基礎演習 保育に生かす知識と技能 (幼児教育学科教員)：これまでに学んだ教養の知識や技能の保育場面への応用を考え、保育技術への発展について専門教員から学ぶ。 [課題(復習)]授業を振り返り記録し、出された課題に取り組む。(1h)						
11	教養講座 情報セキュリティ・消費者生活(伊藤先生・外部講師)：情報社会におけるリテラシー及び18歳成人における消費者トラブル等に関する講話を聴き、社会生活における加害者にも被害者にもならない基本的な知識と倫理観を身につける。 [課題(復習)]授業を振り返り記録し、出された課題に取り組む。(1~2h)						
12	教養講座 女性の健康と命の大切さ(岐阜協立大学戸村先生)：性成熟期に移行する女性の身体と心の仕組みを理解し、自分らしく豊かに生きる方法を考える。 [課題(復習)]講話で聴いた内容についてわからなかったことを調べる。(1~2h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
13	<p>専門基礎演習 保育に生かす知識と技能 (外部講師 松尾千景先生) : エプロンシアターの演じ方や楽しさを知り、表現力の意義を知り、保育現場での保育技術の向上の大切さに気付くことができる。 [課題(復習)]授業を振り返り感想等をまとめる。(1h)</p>
14	<p>教養講座 心と身体の健康について(保健室・学生相談室);健康診断の結果の見方、健康な生活のための知識、UPI健康調査の結果解説、障がい等の理解と支援について、学生相談室の利用例の紹介(学生相談室) [課題(復習)]感想レポートを仕上げ提出する。(1h)</p>
15	<p>前期のまとめ:(1)前期の学修の振り返り(2)自己の課題を確認し、今後に向けての取り組みについて考える。 [課題(復習)]授業を振り返り記録し、出された課題に取り組む。(1~2h)</p>
時間外での学修	<p>毎時、学修記録ノートに学んだ内容を要約し、感想や内容に関する考察を記入してください。また、各回のテーマについて関心を持ち、関連内容や講義時に提示されたキーワードについて調べ、理解を深めてください。分からない点は図書館等で調べ解決すること。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間:15時間】</p>
受講学生へのメッセージ	<p>授業内容は、短期大学生として、また、社会人として基本的に必要な知識や技能であることを認識し学修に臨んでください。広範囲な講義、演習、体験です。毎回欠席することなく受講してください。オフィスアワーは、アカデミックアドバイザーの研究室へ来て相談してください。</p>

【9L5L2032】教養・キャリア基礎演習 (デザイン美術学科)		教養科目		1年前期			
		1単位	必修	演習	30時間		
教員	田中 久志・日原 広一・黒田 皇・伊豫 治好・長久保 光弘						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業方法	内容により、講義形式または演習形式で行います。また、授業形態も全学単位・学科単位・クラス単位など毎時異なります。授業会場・準備するものなど事前によく確認し受講すること。グループワークなど、能動的な学び(アクティブラーニング)を前提とした方法も取り入れていきます。授業内容によっては、G Suiteなどによる遠隔授業や、ICTを活用した課題提出と、そのフィードバックなども双方向で行います。						
到達目標	知識・理解	自己の適性や能力と、専門分野の学びの基盤となる教養の知識を理解できる					
	思考・判断・表現	専門分野に基づく自己の将来構想について、おおよそその見通しが持てる					
	技能	短期大学で必要となる基礎的な学びの技能が身につけている					
	関心・意欲・態度	自己の将来構想についてしっかりと考えながら意欲的に授業に取り組んでいる					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	短期大学での学び方を理解し、基礎的な学修技術を修得します。合わせて社会人となるために必要な基本的な教養や行動様式を学びます。さらに、美術表現を一層豊かに奥深くするための素養として、広範な世界を学びます。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	記録ノート		40	-	-	10	50
	レポート		-	20	-	-	20
	グループワーク		-	-	20	-	20
	受講態度		-	-	-	10	10
合計(点)		40	20	20	20	100	
評価の特記事項	受講態度は主に記録ノートとレポート、グループワークで評価します。フィードバックとして各回で行った授業を、次回授業で確認し、コメントします。						
ICT活用	学生ポータルやメールでの質問を受け付け、返答します。						
アクティブラーニングの活用	回によって、グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーションを行うことがあります。						
課題に対するフィードバック	授業時間外課題の復習について、当該回以後の授業、オフィスアワーでコメントします。						
テキスト							
参考書・教材	必要な資料は授業で配付します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	基礎力リサーチ実施(スキルテスト+アンケート)：現時点での自分自身の基礎学力や学習習慣、学修への意欲等を把握する。 [課題(復習)]基礎力リサーチの内容を振り返り、理解が不十分だった分野を復習する。(1h)						
2	教養・キャリア基礎演習 ガイダンス：この授業で行われる学内共通で学ぶ内容と、学科の専門性を踏まえた内容を知るとともに、目的について理解する(学科) [課題(復習)]シラバスを読み、学修内容を把握する(1~2h)						
3	初年次教育スタートプログラム その1：初年次教育の概要説明(総合教育センター)：初年次教育の目的を理解し、短期大学における学修に必要なスキルについて学ぶ。 [課題(復習)]課題として出された作文を書く(2h)						
4	初年次教育スタートプログラム その2：基礎ゼミ(担当教員)：4学科の学生によって構成された小グループが、割り当てられた教室で課題作文の発表等を行い、各学科の教育の特徴を知るなど大学生活について交流を行う。 [課題(復習)]授業で学んだことを振り返る(1h)						
5	アカデミックスキル講座 レポートの書き方：『だれに』『どんな目的で』提出するレポートなのかを考え、『わかりやすい文章』で書く方法を学ぶ。 [課題(復習)]授業を振り返り記録し、出された課題に取り組む(1~2h)						
6	基礎力リサーチ結果説明(総合教育センター)：個人帳票を見ながら振り返りワークシートを記入し、自分自身の学力・学習状況・行動特性を把握して今後の目標を立てる。 [課題(復習)]学習計画に基づき基礎力チャージ(補助教材)に取り組む(1h)						
7	専門的職業講話 美術編：美術分野に於いて社会で活躍している方の話を聞くことで、美術への関心を深める(外部講師) [課題(復習)](1)美術分野について、学んだ内容を復習し、まとめる(1~2h)						
8	社会人基礎力 共同制作演習：みずき祭での学科の出し物について話し合うグループワーク(学科) [課題(予習・復習)]個人及びグループで今後に向けてアイデアを出す。(1~2h)						
9	社会人基礎力：コミュニケーションスキルアップ~レクリエーションワーク~(外部講師) [課題(復習)]学修内容を復習する(2~3h)						
10	専門的職業講話 デザイン編：デザイン分野に於いて、社会で活躍している方の話を聞くことで、デザインへの理解を深める(外部講師) [課題(復習)]デザイン分野について、学んだ内容を復習し、まとめる(1~2h)						
11	教養講座 情報セキュリティ・消費生活(総合教育センター・大垣市まちづくり推進課)：インターネット利用に関する留意点や消費者生活を送る上での注意点についての講話を聴き、トラブルなく安全に過ごすための知識を身につける。 [課題(復習)]講話で聴いた内容について自分でも調べてみる(1~2h)						
12	教養講座 女性の健康と命の大切さ(岐阜協立大学看護学部 戸村佳美)：性成熟期に移行する女性の身体と心の仕組みを理解し、自分らしく豊かに生きる方法を考える。 [課題(復習)]感想レポートを仕上げ提出する(1h)						
13	専門的職業講話 共創デザイン編：サービスデザイン分野に於いて、社会で活躍している方の話を聞くことで、サービスデザインへの理解を深める(外部講師) [課題(復習)]サービスデザイン分野について、学んだ内容を復習し、まとめる(1h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
14	<p>教養講座 心と体の健康について(保健室・学生相談室)：健康診断の結果の見方、健康な生活のための知識(保健室)、UPI健康調査の結果解説、障がいの理解と支援について、学生相談室の利用例の紹介(学生相談室)</p> <p>[課題(復習)]講話で聞いた内容についてわからなかったことを調べる(1~2h)</p>
15	<p>教養・キャリア基礎演習 総括 将来設計 未来の姿を描く：自己の将来構想についてしっかりと考え、コース目標やねらい、専門科目の内容について理解し、コース選択について考える(学科)</p> <p>[課題(準備)]自己の将来を見据え、コース、科目を把握・理解する(2~3h)</p>
時間外での学修	<p>各回のテーマについて関心をもち、授業後は配付プリント等を復習し理解を深めてください。わからない点、疑問点は図書館等で調べ解決をしてください。自分で調べても問題解決できない場合は、各担当教員に質問してください。</p> <p>【この科目で求める望ましい授業外での総学習時間：30時間】</p>
受講学生へのメッセージ	<p>自ら積極的に学ぼうとする意識をもって受講してください。事前に配付する「学修記録ノート」を毎回持参し、受講後、講義内容と感想を記録してください。</p> <p>尚、オフィスアワーは各チューターの指示に従ってください。</p>

【9L5L2033】教養・キャリア基礎演習 (音 楽総合学科)		教養科目		1年前期			
		1単位	必修	演習	30時間		
教員	松永 幸宏・菅田 文子・横井 香織・森岡 佐和・鬼頭 加奈						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業方法	内容により、講義形式または演習形式で行います。また、授業形態も全学単位・学科単位・クラス単位など毎時異なります。授業会場・準備するものなど事前によく掲示板等で確認し受講してください。						
到達目標	知識・理解	専門分野を学ぶ基盤となる知識及び社会人に共通して求められる社会変化への対応と地域に貢献していくための基本的知識についての理解。					
	思考・判断・表現	人間の在り方や生き方、文化や社会、環境などの理解に必要で、専門分野を学ぶための基本ともなる思考力や判断力、表現力。					
	技能	専門分野を学ぶ基盤となる学問的な技能や知的技法及び社会人に必要なコミュニケーション能力や社会生活の基本となる技能。					
	関心・意欲・態度	教養について学ぶことを将来の社会的役割と結びつけてとらえ、学修への関心と意欲を持って、主体的に取り組んでいこうとする態度。					
	備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	短期大学での学び方、社会人になるための基礎的なコミュニケーションや社会生活の基本となる知識や技能および行動様式を身につけます。また、音楽表現に必要な教養や自己表現力も学ぶとともに、職業的自立に向けて、自己のキャリアデザインを描きます。						
観点別評価		評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	学修記録ノート		30	30	20	-	80
	受講態度		-	-	-	20	20
	合計(点)		30	30	20	20	100
評価の特記事項	学修記録ノートの記入状況と受講態度で総合的に評価します。						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	グループワーク						
課題に対するフィードバック	それぞれの講義担当者による。						
テキスト							
参考書・教材	授業内で指示します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	基礎力リサーチ(スキルテスト+アンケート):現時点での自分自身の基礎学力や学習習慣、学修への意欲等を把握する。 [課題(復習)] 基礎力リサーチの内容を振り返り、理解が不十分だった分野を復習する。(1h)						
2	教養・キャリア基礎演習 ガイダンス(2年間の短大生活の抱負) [課題(準備)] 作文内容について準備する。(1~2h)						
3	初年次教育Start Program(1)「初年次教育の概要説明」(総合教育センター):初年次教育の目的を理解し、短期大学における学修に必要なスキルについて学ぶ。 [課題(復習)] 課題として出された作文を書く。(2h)						
4	初年次教育Start Program(2)「基礎ゼミ(1)」(担当教員):4学科の学生によって構成された小グループで課題作文の発表等を行い、各学科の教育の特徴や大学生活について交流を行う。 [課題(復習)] 授業で学んだことを振り返る。(1h)						
5	アカデミックスキル講座 レポートの書き方(西田拓郎):『だれに』『どんな目的で』提出するレポートなのかを考え、「わかりやすい文章」で書く方法を学ぶ。 [課題(復習)] 授業を振り返り記録し、出された課題に取り組む。(1~2h)						
6	基礎力リサーチ結果説明(総合教育センター):個人帳票を見ながら振り返りワークシートを記入し、自分自身の学力・学習状況・行動特性を把握して今後の目標を立てる。 [課題(復習)] 学習計画に基づき基礎力チャージ(補助教材)に取り組む。(1h)						
7	個別面談:コース別に分かれてアカデミックアドバイザーと個別面談し、大学生活や進路に向けた話し合いを行う。 [課題(復習)] 内容を振り返り、自己を見つめる機会とし、将来の進路について考える。(1~2h)						
8	社会人基礎力 共同作業演習:コース別に分かれて取り組む。さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高める。 [課題(準備)] 協力して作業を遂行するとともに、次の時間に向けて準備を行う。(1h~2h)						
9	個別面談:コース別に分かれてアカデミックアドバイザーと個別面談し、大学生活や進路に向けた話し合いを行う。 [課題(復習)] 内容を振り返り、自己を見つめる機会とし、将来の進路について考える。(1~2h)						
10	社会人基礎力 コミュニケーションスキルアップ ~レクリエーションワーク~(外部講師) [課題(復習)] コミュニケーション力の必要性を理解し、まとめる。(1~2h)						
11	教養講座 情報セキュリティ・消費者生活(総合教育センター 伊藤和典・大垣市まちづくり推進課):インターネット利用に関する留意点や消費者生活を送る上での注意点についての講話を聴き、トラブルなく安全に過ごすための知識を身につける。 [課題(復習)] 講話で聴いた内容について自分でも調べてみる。(1~2h)						
12	教養講座 女性の健康と命の大切さ(岐阜協立大学看護学部 戸村佳美):性成熟期に移行する女性の身体と心の仕組みを理解し、自分らしく豊かに生きる方法を考える。 [課題(復習)] 感想レポートを仕上げ提出する。(1h)						
13	社会人基礎力 共同作業演習:コース別後期履修説明。コース別に分かれて取り組む。さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高める。 [課題(準備)] 協力して作業を遂行するとともに、次の時間に向けて準備を行う。(1h~2h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
14	<p>教養講座 心と身体の健康について(保健室・学生相談室)：健康診断の結果の見方、健康な生活のための知識(保健室)、UPI健康調査の結果解説、障がいの理解と支援について、学生相談室の利用例の紹介(学生相談室)</p> <p>[課題(復習)] 講話で聞いた内容について分からなかったことを調べる。(1~2h)</p>
15	<p>教養・キャリア基礎演習 総括：前期のまとめと後期の準備</p> <p>[課題(復習)] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる。(1~2h)</p>
時間外での学修	<p>毎時、学修記録ノートに学んだ内容を要約し、受講しての感想や内容に関しての自らの考察を記入しますが、時間内に記入できなかった場合は次回までに記入し、担当教員まで提出してください。また、関連内容や講義時に提示されたキーワードについて調べ、理解を深めましょう。</p> <p>【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30時間】</p>
受講学生へのメッセージ	<p>授業の学修内容は、短期大学生として、また社会人として基本的に必要な知識や技能であることを認識し、臨んでください。広範囲な講義、演習です。毎回欠席することなく受講してください。オフィスアワーは各アカデミックアドバイザーの指示に従ってください。</p>

【9L5L2034】教養・キャリア基礎演習 (歯科衛生学科)		教養科目		1年前期		
		1単位	必修	演習	30時間	
教員	吉田 康夫・大林 泰二・水嶋 広美・今井 藍子・大谷 悦世・川畠 智子・藤塚 未子					
資格・制限等	特になし					
実務家教員						
授業方法	学生相互及び教員とのコミュニケーションを図りながら体験的に学修します。全学単位、学科単位など授業形態が異なります。講義形式、あるいは演習等のグループワーク、発表があります。					
到達目標	知識・理解	自己の適性や能力と、専門分野の学びの基盤となる教養の知識を理解できる				
	思考・判断・表現	専門分野にもとづく自己の将来構想について、おおよその見通しが持てる				
	技能	短期大学で必要となる基本的な学びの技能が身に付いている				
	関心・意欲・態度	自己の将来構想についてしっかりと考えながら意欲的に授業に取り組める				
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達指標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	本学の建学の精神と教育方針に沿った学修成果の達成に向けて、受講生が主体的に学び、幅広い視野を持ち知的基盤等を教養として身につけるようにします。その基礎となる短期大学での学び方や人間の理解を中心に、学問的知識・技能や思考方法、社会人となるための知識・行動様式などを学んでいくための基本的内容を総合的に理解することを目的とします。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	学修記録ノート	-	30	-	-	30
	発表内容	10	-	-	-	10
	発表技術	-	-	20	-	20
	受講態度	-	-	-	40	40
合計(点)	10	30	20	40	100	
評価の特記事項	学修記録ノートの記録、発表(欠席した場合、レポート作成を課す)、受講態度(課題提出状況)で評価します。					
ICT活用						
アクティブ・ラーニングの活用	プレゼンテーション					
課題に対するフィードバック	学修記録ノート等提出物において回収後、コメントします。					
テキスト	『					
参考書・教材	必要な資料は、配付します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	基礎力リサーチ実施(スキルテスト+アンケート)：現時点での自分自身の基礎学力や学習習慣、学修への意欲等を把握する。 [課題(復習)]基礎力リサーチの内容を振り返り、理解が不十分だった分野を復習する。(1h)					
2	教養キャリア基礎演習 ガイダンス：この授業で学ぶ内容と各学科の専門性を踏まえた目的について理解する。 [課題(復習)]授業内容を学修記録ノートにまとめる。シラバスを読み、次回の学修内容を把握する(1~2h)					
3	初年次教育スタートプログラム(1) 初年次教育の概要(総合教育センター)：初年次教育の目的を理解し、短期大学における学修に必要なスキルについて学ぶ。 [課題(復習)]課題として出された作文を書く。(2h)					
4	初年次教育スタートプログラム(2) 基礎ゼミ(担当教員)：4学科の学生によって構成された小グループで課題作文の発表等を行い、各学科の教育の特徴や大学生活について交流を行う。 [課題(復習)]授業で学んだことを振り返る。(1h)					
5	アカデミックスキル講座 レポートの書き方『だれに』『どんな目的で』提出するレポートなのかを考え、「わかりやすい文章」で書く方法を学ぶ。					
6	基礎力リサーチ結果説明(総合教育センター)：個人帳票を見ながら振り返りワークシートを記入し、自分自身の学力・学習状況・行動特性を把握して今後の目標を立てる。 [課題(復習)]学習計画に基づき基礎力チャージ(補助教材)に取り組む。(1h)					
7	社会人基礎力：コミュニケーションスキルアップ~レクリエーションワーク~(大垣レクリエーション協会) [課題(復習)]授業内容を学修記録ノートにまとめる。シラバスを読み、次回の学修内容を把握する。(1~2h)					
8	社会人基礎力：漢字テスト・個別面談(アカデミックアドバイザーと面談。今後の学生生活での課題を明確にする) [課題(復習)]授業内容を学修記録ノートにまとめる。シラバスを読み、次回の学修内容を把握する。(1~2h)					
9	日本文化体験：浴衣の着付け(1)浴衣の着付けを通して日本文化について学ぶ。(外部講師) [課題(復習)]授業内容を学修記録ノートにまとめる。シラバスを読み、次回の学修内容を把握する。(1~2h)					
10	日本文化体験：浴衣の着付け(2)浴衣の着付けを通して日本文化について学ぶ(外部講師) [課題(復習)]授業内容を学修記録ノートにまとめる。シラバスを読み、次回の学修内容を把握する。(1~2h)					
11	教養講座：[情報セキュリティ講座(総合教育センター)・消費者生活講座(大垣市出前講座)：インターネット利用に関する留意点や消費者生活を送る上での注意点についての講話を聴き、トラブルなく安全に過ごすための知識を身につける。 [課題(復習)]講話で聞いた内容について自分でも調べてみる。(1~2h) 課題(復習)]授業を振り返り記録し、出された課題に取り組む。(1~2h)					
12	教養講座：女性の健康と命の大切さ(岐阜協立大学看護学部 戸村佳美)：性成熟期に移行する女性の身体と心の仕組みを理解し、自分らしく豊かに生きる方法を考える。 [課題(復習)]感想レポートを仕上げ提出する。(1h)					

内容	
実施回	授業内容・目標
13	<p>社会人としてのマナー 服装編：社会人としてのスーツの着こなし方を学ぶ。(外部講師)</p> <p>[課題(復習)]授業内容を学修記録ノートにまとめる。シラバスを読み、次回の学修内容を把握する。(1~2h)</p>
14	<p>教養講座：心と身体の健康について(保健室・学生相談室)：健康診断の結果の見方、健康な生活のための知識(保健室)、UPI健康調査の結果解説、障がいの理解と支援について、学生相談室の利用例の紹介(学生相談室)</p> <p>[課題(復習)]講話で聞いた内容についてわからなかったことを調べる。(1~2h)</p>
15	<p>前期のまとめ：「自分の考える教養とは」をテーマに、受講して学んだことや教養に対する自分の考えをまとめ、決められた時間内で発表する。発表者としての身だしなみやマナーにも配慮する。</p> <p>[課題(復習)]授業内容を学修記録ノートにまとめる。(1~2h)</p>
時間外での学修	<p>毎回、受講後に「学修記録ノート」へ受講内容や学んだことを明確に記録してください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】</p>
受講学生へのメッセージ	<p>本科目は、多種多様な講義と演習の科目です。毎時間出席することにより、受講記録を行うことが大切です。担当教員より「学修記録ノート」提出の指示があった場合は、指示通りに提出してください。最終日に「学修記録ノート」を全員提出してもらい、評価をします。 オフィスアワーは、各担当教員の時間になります。</p>

【9L5L2041】教養・キャリア基礎演習 (幼児教育学科)		教養科目		1年後期			
		1単位	必修	演習	30時間		
教員	垣添 忠厚・光井 恵子・岡本 英通						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業方法	内容により、講義形式または演習形式で行います。また、授業形態も全学単位・学科単位・クラス単位など毎時異なります。授業会場・準備するものなど掲示板で事前によく確認し受講してください。						
到達目標	知識・理解	専門分野の学びや職業・就労についての基本的知識と理解を深める。					
	思考・判断・表現	専門分野の学びや社会的・職業的自立に向けた進路選択のための課題解決などに必要な思考・判断・表現力を養う。					
	技能	専門分野の学びや社会人として必要なコミュニケーションやマナーについて学び、日常生活に生かす。					
	関心・意欲・態度	さまざまな課題に対して積極的に取り組む。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達指標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	社会人として自立していくための基本的な知識や技能、一般常識を学び、社会人に求められる望ましい就業観・勤労観を身につけていきます。また、社会性と協調性の基本となる行動様式を身につけ、考える力とコミュニケーション能力を養います。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	学修記録ノート		15	15	15	15	60
	学修意欲・受講態度		5	5	5	5	20
	レポート		5	5	5	5	20
	合計(点)		25	25	25	25	100
評価の特記事項	ICT活用						
アクティブ・ラーニングの活用	授業内での演習活動等通して、互いの意見を交流し、理解や思考を深める。						
課題に対するフィードバック	学修記録の確認を行い授業内で共有します。						
テキスト							
参考書・教材	必要な資料は授業で配付します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス・社会人基礎力 日本語講座 敬語(総合教育センター)：教養・キャリア基礎演習 についての説明と、今後の内容や活動について知る。社会人、職業人として必要な礼節及び正しい日本語の使い方を学ぶ。 [課題(復習)]学修した内容を復習し、感想等をまとめる。(1h)						
2	基礎力リサーチ実施(スキルテスト+アンケート)：現時点での自分自身の基礎学力や学習習慣、学修への意欲等を把握する。 [課題(復習)]基礎力リサーチの内容を振り返り、理解が不十分だった分野を復習する。(1h)						
3	社会人基礎力 共同作業体験演習：さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高め、みずき祭のクラス企画の計画及び準備物の制作を行う。 [課題(復習)]計画に基づき、準備物等を用意する。(2~4h)						
4	社会人基礎力 共同作業体験演習：さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高め、みずき祭のクラス企画の準備等を行う。 [課題(実践)]学修した内容をもとに、みずき祭でクラス企画を運営する。(2~4h)						
5	教養講座 危機管理～避難訓練～地震や火災時に自らの命を守る行動について学び、実際避難訓練を通して安全に避難するための避難経路を確認し、防災・減災に対する意識を高める。 [課題(復習)]学修した内容を復習し、家庭での防災状況を確認し対策をまとめる。(1h)						
6	専門的職業講話 保育職(公務員)とは(外部講師・保育士保育所支援センター)：現職として活躍する保育者から、公立の保育および幼児教育施設で働く魅力、働く内容、現場の実情についての講話を聞き、保育者として求められる資質について考える。 [課題(復習)]学修した内容を復習し、感想等をまとめる。(1h)						
7	基礎力リサーチ結果説明(総合教育センター)：個人帳票を見ながら振り返りワークシートを記入し、自分自身の学力・学習状況・行動特性を把握して今後の目標を立てる。 [課題(復習)]振り返りワークシートを見ながら今後の学習計画を考える。(1h)						
8	専門的職業講話 西濃地区幼稚園セミナー(西濃地区幼稚園連盟)：幼稚園の経営者または現職で働く教諭等から民間の幼稚園教育の魅力、働く内容、現場の実情についての講話を聞き、民間の幼稚園に勤める保育者に求められる資質について学ぶ。 [課題(復習)]学修した内容を復習し、感想等をまとめる。(1h)						
9	専門的職業講話 大垣民間保育園セミナー(大垣民保連盟)：保育所の経営者または現職で働く教諭等から民間の保育の魅力、働く内容、現場の実情についての講話を聞き、民間の保育園等に勤める保育者に求められる資質について学ぶ。 [課題(復習)]学修した内容を復習し、感想等をまとめる。(1h)						
10	専門的職業講話 卒業生による職業講話：幼児教育学科の卒業生から保育職の実際や実習、大学生活に必要なことについて学ぶ。 [課題(復習)]学修した内容を復習し、感想等をまとめる。						
11	初年次教育スタートプログラム その3 基礎ゼミ (担当教員)：前期と同じ4学科の学生による小グループで、1年間の学びへの取組状況を専門科目中心に振り返り、意見交流を行う。 [課題(復習)]専門科目における一年間の学修を振り返る。(1h)						
12	初年次教育スタートプログラム その4 初年次教育の振り返り(総合教育センター)：教養科目における一年間の学びへの取組状況を振り返り、今後の目標を立てる。 [課題(復習)]一年間教養科目で学んだ内容を振り返る。(1h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
13	<p>社会人基礎力 共同作業体験演習 : さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高め、こども祭の来場者を子どもの世界に引き込む環境設定について考え、計画する。</p> <p>[課題(復習)][課題(復習)]計画に基づき、準備物等を用意する。(2~4h)</p>
14	<p>社会人基礎力 共同作業体験演習 : さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高め、こども祭の来場者を子どもの世界に引き込む環境設定を実現する。</p> <p>[課題(復習)]学修した内容を復習し、感想等をまとめる。(1h)</p>
15	<p>総括: 後期の学修を振り返り、総括すると共に今後に向けての課題を明らかにする。</p> <p>[課題(復習)]学修した内容を復習し、記録用紙にまとめる。(1h)</p>
時間外での学修	<p>毎時、学修記録ノートに学んだ内容を要約し、感想や内容に関する考察を記入してください。また、各回のテーマについて関心を持ち、関連内容や講義時に提示されたキーワードについて調べ、理解を深めること。分からない点は図書館等で調べ解決してください。</p> <p>【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】</p>
受講学生へのメッセージ	<p>授業の学修内容は、短期大学生として、また、社会人として基本的に必要な知識や技能であることを認識し学修に臨んでください。広範囲な講義、演習、体験です。毎回欠席することなく受講してください。オフィスアワーは、アカデミックアドバイザーの研究室へ来て相談してください。</p>

【9L5L2042】教養・キャリア基礎演習 (デザイン美術学科)		教養科目		1年後期			
		1単位	必修	演習	30時間		
教員	田中 久志・日原 広一・黒田 皇・伊豫 治好・長久保 光弘						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業方法	多種多様な講義と演習の科目なので、全学単位、学科単位、クラス単位など授業形態が毎時異なります。事前に授業会場、準備するものなど、掲示等をよく確認しておいてください。グループワークなど、能動的な学び(アクティブラーニング)を前提とした方法も取り入れていきます。授業内容によっては、G Suiteなどによる遠隔授業や、ICTを活用した課題提出と、そのフィードバックなども双方向で行います。						
到達目標	知識・理解	専門分野の学びとともに社会人に求められる知識についても理解できる。					
	思考・判断・表現	社会人になるために必要な基礎的な思考・判断・表現の力がついている。					
	技能	自己の将来を実現していくために必要な基本的技能が身についている。					
	関心・意欲・態度	自己の将来構想実現に向けて、課題意識を持って意欲的に授業に取り組める。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	前期で身に付けた基礎学修を応用していくとともに、一般常識を学び、社会人に求められる望ましい就業観・勤労観を身に付けていきます。また、社会性と協調性の基本となる行動様式を身に付け、考える力とコミュニケーション能力を養います。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	学修記録ノート		40	-	-	10	50
	レポート		-	20	-	-	20
	グループワーク		-	-	20	-	20
	受講態度		-	-	-	10	10
合計(点)		40	20	20	20	100	
評価の特記事項	受講態度は主に記録ノートとレポート、グループワークで評価します。調査の内容、課題・レポート等で評価します。フィードバックとして各回で行った授業を、次回授業で確認し、コメントします。						
ICT活用	学生ポータルやメールでの質問を受け付け、返答します。						
アクティブラーニングの活用	回によって、グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーションを行うことがあります。						
課題に対するフィードバック	授業時間外課題の復習について、次回以後の授業でコメントします。						
テキスト							
参考書・教材	必要な資料は授業で配付します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	教養キャリア ガイダンス(学科)/社会人基礎力 日本語講座 敬語(総合教育センター):授業の進み方を把握し、キャリア教育の概念を理解する。日本語検定の練習問題や過去問の演習と解説を通して、社会人にとって必要な「正しい日本語の使い方」を学ぶ。 [課題(復習)]授業で取り組んだ問題の復習をする。(1h)/講座の目的、目標をまとめる。(1h)						
2	基礎力リサーチ実施(スキルテスト+アンケート):現時点での自分自身の基礎学力や学習習慣、学修への意欲等を把握する。 [課題(復習)]基礎力リサーチの内容を振り返り、理解が不十分だった分野を復習する。(1h)						
3	社会人基礎力 共同制作演習 :クラスごとに、みずき祭クラス企画の内容と、運営する方法を設計する。(学科) [課題(復習)]企画立案、運営の方法などを理解し、まとめる。(2h~3h)						
4	社会人基礎力 共同制作演習 :クラスごとに、みずき祭クラス企画の内容と、運営する方法を設計する。(学科) [課題(復習)]企画立案、運営の方法などを理解し、まとめる。(2h~3h)						
5	教養講座 危機管理~避難訓練~地震や火災時に自らの命を守る行動について学び、実際避難訓練を通して安全に避難するための避難経路を確認し、防災・減災に対する意識を高める。 [課題(復習)]学修した内容を復習し、家庭での防災状況を確認し対策をまとめる。(1h)						
6	個別面談:担当教員による学校生活についての聞き取りと、自己の将来についてどのような考えを持っているかなど、卒業後の進路について聞き、話し合う。(学科) [課題(復習・準備)]面談の話を踏まえ、進路についてより具体的に考え、まとめる。(1h~2h)						
7	基礎力リサーチ結果説明(総合教育センター):個人帳票を見ながら振り返りワークシートを記入し、自分自身の学力・学習状況・行動特性を把握して今後の目標を立てる。 [課題(復習)]振り返りワークシートを見ながら今後の学習計画を考える。(1h~2h)						
8	専門的職業講話 卒業生の話:社会人である卒業生の話を聞き、自身の進路選択に生かす。 [課題(復習)]自身の進路について考察し、まとめる。(1~2h)						
9	社会人としてのマナー 服装編:社会人として適切な服装と、着こなしのポイントを知り将来に備える。(外部講師) [課題(復習)]社会人らしい服装について理解し、まとめる。(1h~2h)						
10	社会人としてのマナー メイク編:社会人としてふさわしい身だしなみの一環としてのメイク法を知る。(外部講師) [課題(復習)]メイク法について振り返り、まとめる。(1h~2h)						
11	初年次教育スタートプログラム その3 基礎ゼミ(担当教員):前期と同じ4学科の学生による小グループで、1年間の学びへの取組状況を専門科目中心に振り返り、意見交流を行う。 [課題(復習)]専門科目における一年間の学修を振り返る。(1h)						
12	初年次教育スタートプログラム その4 初年次教育の振り返り(総合教育センター):教養科目における一年間の学びへの取組状況を振り返り、今後の目標を立てる。 [課題(復習)]一年間教養科目で学んだ内容を振り返る。(1h)						
13	専門的職業講話 マンガ編(編集者):有名マンガ雑誌を出版する会社編集者を招き、編集という仕事と、マンガ家という仕事、マンガ業界について学ぶ。(外部講師) [課題(復習)]個々人の就職関連の学びに生かせるよう、復習し、まとめる。(2h~3h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
14	将来に向かっての選択 : 1年次の学びの振り返りと、自立するためのライフプランを念頭に、今後を考える(1)(学科) [課題(復習・準備)]目標を設定する。(2h~3h)
15	将来に向かっての選択 : 1年次の学びの振り返りと、自立するためのライフプランを念頭に、今後を考える(2)(学科) [課題(復習・準備)]目標を設定し、まとめる。(1h)
時間外での学修	各回のテーマについてしっかり関心をもち、授業後は配付プリント等を復習し理解を深めてください。分からない点、疑問点は図書館等で調べ解決をしてください。自分で調べても解決できない場合は、各担当教員に相談してください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30時間】
受講学生へのメッセージ	自ら積極的に学ぼうとする意識をもって受講してください。事前に配付する「学修記録ノート」を毎回持参し、受講後、講義内容と感想を記録してください。 尚、オフィスアワーは各チューターの指示に従ってください。

【9L5L2043】教養・キャリア基礎演習 (音 楽総合学科)		教養科目		1年後期			
		1単位	必修	演習	30時間		
教員	松永 幸宏・菅田 文子・横井 香織・森岡 佐和・鬼頭 加奈						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業方法	内容により、講義形式または演習形式で行います。また、授業形態も全学単位・学科単位・クラス単位など毎時異なります。授業会場・準備するものなど事前によく掲示板等で確認し受講してください。						
到達目標	知識・理解	自己の適性や能力と専門分野の学びの基盤となる教養の知識を理解できる。					
	思考・判断・表現	専門分野にもとづく自己の将来構想について、おおよその見通しが持てる。					
	技能	自己の将来構想を実現していくために必要な基本的技能が身についている。					
	関心・意欲・態度	自己の将来構想についてしっかりと考えながら意欲的に授業に取り組める。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	社会人になるための基本的な知識や技能、一般常識を学び、職業人に求められる望ましい就業観・勤労観を身につけていきます。全学科共通の授業や少ない人数のゼミ形式など、様々なかたちでの振る舞い方、対人関係を深めるコミュニケーションについても授業で学びます。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	学修記録ノート		30	30	20	-	80
	受講態度		-	-	-	20	20
	合計(点)		30	30	20	20	100
評価の特記事項	学修記録ノートの記入状況と受講態度で総合的に評価します。						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	グループ・ディスカッション、グループワーク						
課題に対するフィードバック	それぞれの講義担当者による。						
テキスト	なし						
参考書・教材	資料等は授業毎に配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	教養・キャリア基礎演習 ガイダンス/キャリア基礎 : 学生と社会人の違い、キャリアデザイン・働く意義・職業観について学ぶ。(外部講師) [課題(復習・発展)] 後期全体の学修内容を確認する。将来どのような仕事・働き方をしたいのか明確にしておく。(1h~2h)						
2	基礎力リサーチ実施(スキルテスト+アンケート): 現時点での自分自身の基礎学力や学習習慣、学修への意欲等を把握する。 [課題(復習)] 基礎力リサーチの内容を振り返り、理解が不十分だった分野を復習する。(1h)						
3	社会人基礎力 共同作業演習 : コース別に分かれて取り組む。さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高める。 [課題(準備)] 協力して作業を遂行するとともに、次の時間に向けて準備を行う。(1h~2h)						
4	社会人基礎力 共同作業演習 : コース別に分かれて取り組む。さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高める。 [課題(準備)] 協力して作業を遂行するとともに、次の時間に向けて準備を行う。(1h~2h)						
5	教養講座 危機管理-避難訓練~ 地震や火災時に自らの命を守る行動について学び、実際避難訓練を通して安全に避難するための避難経路を確認し、防災・減災に対する意識を高める。 [課題(復習)] 学修した内容を復習し、家庭での防災状況を確認し対策をまとめる。(1h)						
6	社会人基礎力 : 挨拶・話し方他(外部講師) [課題(復習)] 社会人基礎力として学んだ話し方、接遇の仕方を振り返り、確認する。(1h~2h)						
7	基礎力リサーチ結果説明(総合教育センター): 個人帳票を見ながら振り返りワークシートを記入し、自分自身の学力・学習状況・行動特性を把握して今後の目標を立てる。 [課題(復習)] 振り返りワークシートを見ながら今後の学習計画を考える。(1h)						
8	社会人基礎力 : 電話・ビジネスメール他(外部講師) [課題(復習)] 社会人基礎力として学んだ電話やビジネスメールでの対応を振り返り、確認する。(1h~2h)						
9	社会人としてのマナー : メイク編(外部講師) [課題(復習)] 社会人マナーとしてのメイクの仕方や所作を確認する。(1h~2h)						
10	社会人としてのマナー : 服装編(外部講師) [課題(復習)] 社会人マナーとしての着こなし方や所作を確認する。(1h~2h)						
11	初年次教育スタートプログラム その3 基礎ゼミ (担当教員): 前期と同じ4学科の学生による小グループで、1年間の学びへの取組状況を専門科目中心に振り返り、意見交流を行う。 [課題(復習)] 専門科目における一年間の学修を振り返る。(1h)						
12	初年次教育スタートプログラム その4 初年次教育の振り返り(総合教育センター): 教養科目における一年間の学びへの取組状況を振り返り、今後の目標を立てる。 [課題(復習)] 一年間教養科目で学んだ内容を振り返る。(1h)						
13	個別面談 : アカデミックアドバイザーと学校生活や進路に向けた話し合いを行う [課題(復習)] 内容を振り返り、自己を見つめる機会とし、将来の進路について考える。(1~2h)						
14	個別面談 : アカデミックアドバイザーと学校生活や進路に向けた話し合いを行う [課題(復習)] 内容を振り返り、自己を見つめる機会とし、将来の進路について考える。(1~2h)						
15	教養・キャリア基礎演習 総括 反省と今後に向けて [課題(復習)] 1年間全体を通して振り返り、学んだ内容をまとめる。(1h~2h)						

時間外での学修	<p>各回のテーマについて関心を持ち、授業後は配布プリント等を復習し理解を深めてください。 分からない点、疑問点は図書館等で調べ解決してください。 自分で調べても解決できない場合は、各アカデミック・アドバイザーに質問すること。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30時間】</p>
受講学生へのメッセージ	<p>自ら積極的に学ぼうとする意識をしっかりとって受講してください。事前に配布する「教養・キャリア基礎演習 学修記録ノート」を毎回持参し、受講後、講義内容・学び・自己評価を記入してください。 オフィスアワーは、各アカデミック・アドバイザーの指示に従ってください。</p>

【9L5L2044】教養・キャリア基礎演習 (歯科衛生学科)		教養科目		1年後期			
		1単位	必修	演習	30時間		
教員	大林 泰二・松下 健二・吉田 康夫・水嶋 広美・今井 藍子・大谷 悦世・川畠 智子・藤塚 未子						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業方法	全学単位、学科単位、クラス単位での多種多様な講義と演習の科目です。集団活動や外部講師、授業内容によっては、G Suiteなどを活用した遠隔授業も行います。小グループでの討論、検討などの授業形態が毎時異なった授業を展開していきます。毎回授業ごとに、学修記録を作成します。最後の授業では、今までの振り返りとして「発表」を行います。質問等についてはメールでも受け付けます。						
到達目標	知識・理解	専門分野の学びとともに社会人に求められる知識についても理解できる。					
	思考・判断・表現	社会人になるために必要な基礎的な思考・判断・表現の力がついている。					
	技能	自己の将来構想を実現していくために必要な基本的技能が身についている。					
	関心・意欲・態度	自己の将来構想に向けて、課題意識を持って意欲的に授業に取り組める。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	社会人として自立していくための基本的な知識や技能、一般常識を学び、社会人に求められる望ましい就業観・勤労観を身につけていきます。また、社会性と協調性の基本となる行動様式を身につけ、考える力とコミュニケーション能力を養います。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	受講態度		-	-	-	30	30
	学修記録ノートの記述	40	-	-	-	-	40
	発表	-	-	-	20	-	20
	レポート	-	10	-	-	-	10
	合計(点)	40	10	20	30	100	
評価の特記事項	学修記録ノートとまとめ発表、レポートで、評価します。第15回教養・キャリア基礎演習 のまとめを欠席した場合は、発表に準じた課題があります。全授業の1/3以上欠席の場合、単位を与えません。						
ICT活用	学生ポータルやメールでの質問を受け、返信します。						
アクティブラーニングの活用	共同作業は自主的に係を決め、行動し、ディスカッションしてもらいます。						
課題に対するフィードバック	授業時間外課題は、次回以降の授業でAcademic advisorからコメントします。						
テキスト	なし						
参考書・教材	必要な資料は授業で配付します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス：教養・キャリア基礎演習 についての説明と、今後の内容や活動について話し合う。 日本語講座 敬語（総合教育センター）：日本語検定の練習問題や過去問の演習と解説を通して、社会人にとって必要な「正しい日本語の使い方」を学ぶ。 [課題（復習）]授業で取り組んだ問題の復習をする。社会人に求められる望ましい就業観・勤労観について考える。（1h）						
2	基礎力リサーチ実施（スキルテスト+アンケート）：現時点での自分自身の基礎学力や学習習慣、学修への意欲等を把握する。 [課題（復習）]基礎力リサーチの内容を振り返り、理解が不十分だった分野を復習する。（1h）						
3	共同作業体験 :みずき祭について各クラスに分かれ、ディスカッションする。 [課題（復習）]クラスの企画について、まとめる(1h)キャリアプランについて：自分の将来のための、個々のキャリアプランについて考える。						
4	共同作業体験 :みずき祭について各クラスに分かれ準備する。 [課題（復習）]クラス企画に必要な準備物を、まとめる。（1h）						
5	教養講座 危機管理～避難訓練～ 地震や火災時に自らの命を守る行動について学び、実際避難訓練を通して安全に避難するための避難経路を確認し、防災・減災に対する意識を高める。 [課題（復習）]学修した内容を復習し、家庭での防災状況を確認し対策をまとめる。（1h）						
6	歯科医療における地域貢献：歯科衛生士として歯科医療における地域貢献について学ぶ。（大垣歯科医師会） [課題（復習）]地域貢献について歯科衛生士の役割を復習し、考えたことを記述する。（1h）						
7	基礎力リサーチ結果説明（総合教育センター）：個人帳票を見ながら振り返りワークシートを記入し、自分自身の学力・学習状況・行動特性を把握して今後の目標を立てる。 [課題（復習）]振り返りワークシートを見ながら今後の学習計画を考える。（1h）						
8	多様な生き方について考える：多様な生き方について学ぶ。 [課題（復習）]学んだ内容について、まとめる。（1h）						
9	日本語講座 漢字・語彙（総合教育センター）：日本語検定の練習問題や過去問の演習と解説を通して、社会人にとって必要な「日本語に関する知識」を学ぶ。 [課題（復習）]授業で取り組んだ問題の復習をする。（1h）						
10	医療従事者のためのユニバーサルサービス：ユニバーサルサービス、コミュニケーションを学ぶ。（外部講師） [課題（復習）]ユニバーサルサービス、コミュニケーションを学んで、考えたことを記述する。（1h）						
11	初年次教育スタートプログラム その3 基礎ゼミ（担当教員）：前期と同じ4学科の学生による小グループで、1年間の学びへの取組状況を専門科目中心に振り返り、意見交流を行う。 [課題（復習）]専門科目における一年間の学修を振り返る。（1h）						
12	初年次教育スタートプログラム その4 初年次教育の振り返り（総合教育センター）：教養科目における一年間の学びへの取組状況を振り返り、今後の目標を立てる。 [課題（復習）]一年間教養科目で学んだ内容を振り返る。（1h）						
13	社会人としてのマナー :メイク編 清潔感のあるより良い第一印象を与えるためのメイクの技術を学ぶ。 [課題（復習）]社会人としての身だしなみについて、振り返る。（1h）						

内容	
実施回	授業内容・目標
14	教養・キャリア基礎演習 ・ 総括：反省と今後に向けてのまとめ、次回発表のための準備 AAとの個別面談 [課題（復習）]自分自身の一年間の学修を振り返る、発表のための原稿作製。（1～2h）
15	教養・キャリア基礎演習 まとめ：今後に向けて、14回の内容についての学びをまとめ、発表する 今までの学修成果（課題）を参考にしながら、自分なりの意見をまとめる。 [課題（復習・他）]発表で不十分だったところを反省し、学修記録ノートに記述しまとめる。（1h）
時間外での学修	各回のテーマについて関心をもち、授業後は配付プリント等を復習し理解を深めてください。わからない点、疑問点は図書館等で調べ解決をしてください。自分で調べても問題解決できない場合は、各担当教員に質問してください。 【この科目でもとめる望ましい授業外での総学修時間：15時間】
受講学生へのメッセージ	自ら積極的に学ぼうとする意識をもって受講してください。事前に配付する「学修記録ノート」を毎回持参し、受講後講義内容と感想を記録してください。 オフィスアワー：教員の研究室、スタッフルーム（G202：G号館2F）各担当教員の時間になります。

【9L5L206】就職試験対策演習 A		教養科目		1～3年前期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	伊藤 和典・小椋 博文						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業方法	テキストに基づいて予習し、授業時の確認テストで今後の学修課題を見つけます。さらに実践問題(公務員試験対策、SPI対策)の演習を行い解説を聞いて理解を深めます。受講学生の中からSA(スチューデント・アシスタント)が選定され、学修サポートを行います。実践問題は1回の授業で言語的分野、非言語的分野(資料解釈、数的処理、推理・推論)のうち2つに取り組みます。						
到達目標	知識・理解	専門分野を学ぶ基礎となり、社会人に教養として求められる知識を身につける。					
	思考・判断・表現	社会人に求められる資質としての思考力や判断力を身につける。					
	技能	社会人に求められる資質の1つとして、知的操作や知的技法の基礎を身につける。					
	関心・意欲・態度	自己の目標や状況に応じて、意欲を持って主体的に学修に取り組むことができる。					
	備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	この授業では、社会人として必要となる基礎的・汎用的能力や論理的思考力・創造力の基盤となる知識について、中等教育までに学修した内容の定着と深化を図ります。また、就職試験で必要となる内容についても、非言語分野・言語分野(資料解釈、数的処理、推理・推論)の演習問題に取り組み、実戦力を付けることが出来ます。就職対策のためには授業時間外学習も重要となるので、授業の内容も含めて自分なりの学修計画を立てることが必要です。多様な領域の課題に向き合って考え、継続的に取り組む力が身につく授業です。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	試験		30	10	5	-	45
	学修記録		10	10	5	5	30
	受講態度		-	5	5	15	25
	合計(点)		40	25	15	20	100
評価の特記事項	ICT活用						
アクティブ・ラーニングの活用	確認テストや演習問題の採点は自らで行い、自分自身の課題を学修記録で可視化して継続的な学びに役立てます。						
課題に対するフィードバック	自宅で学修してきた内容について、毎回確認テストを実施し、学修内容の定着を目指します。						
テキスト	『筆記試験対策ベーシックドリル 一般常識&SPI』就職試験研究グループ[著] 実教出版(1,320円) ISBN:978-4-407-34941-2						
参考書・教材	授業で指示します。その他必要な資料は配付します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	オリエンテーション：学修の進め方や教材、就職試験(公務員・SPI)について SAの説明 基礎確認テスト [課題(復習)]基礎確認テストでできなかった所の復習(1～2h)						
2	予習範囲：漢字の読み書き / 日本地理 演習問題(非言語分野・言語分野) [課題(予習/復習)]今回の学修内容(国語・社会・演習)(1～2h)						
3	予習範囲：漢字の読み書き / 【特集】数学のまとめ1～2 演習問題(非言語分野・言語分野) [課題(予習/復習)]今回の学修内容(国語・数学・演習)(1～2h)						
4	予習範囲：漢字の読み書き / 日本地理 演習問題(非言語分野・言語分野) [課題(予習/復習)]今回の学修内容(国語・社会・演習)(1～2h)						
5	予習範囲：漢字の読み書き / 【特集】数学のまとめ3～4 演習問題(非言語分野・言語分野) [課題(予習/復習)]今回の学修内容(国語・数学・演習)(1～2h)						
6	予習範囲：漢字の読み書き / 世界地理 演習問題(非言語分野・言語分野) [課題(予習/復習)]今回の学修内容(国語・社会・演習)(1～2h)						
7	予習範囲：漢字の読み書き / 世界地理 演習問題(非言語分野・言語分野) [課題(予習/復習)]今回の学修内容(国語・社会・演習)(1～2h)						
8	予習範囲：同字異読語の読み / 【特集】数学のまとめ5～7 演習問題(非言語分野・言語分野) [課題(予習/復習)]今回の学修内容(国語・数学・演習)(1～2h)						
9	予習範囲：読みにくい漢字 / 日本史 演習問題(非言語分野・言語分野) [課題(予習/復習)]今回の学修内容(国語・社会・演習)(1～2h)						
10	予習範囲：同音異義語の書き取り / 日本史 演習問題(非言語分野・言語分野) [課題(予習/復習)]今回の学修内容(国語・数学・演習)(1～2h)						
11	予習範囲：同訓異義語の書き取り / 世界史 演習問題(非言語分野・言語分野) [課題(予習/復習)]今回の学修内容(国語・社会・演習)(1～2h)						
12	予習範囲：同義語・対義語 / 政治 演習問題(非言語分野・言語分野) [課題(予習/復習)]今回の学修内容(国語・社会・演習)(1～2h)						
13	予習範囲：ことわざ・故事成語 / 政治 演習問題(非言語分野・言語分野) [課題(予習/復習)]今回の学修内容(国語・社会・演習)(1～2h)						
14	予習範囲：(英語)単語 / 国際政治 演習問題(非言語分野・言語分野) [課題(予習/復習)]今回の学修内容(英語・社会・演習)(1～2h)						
15	試験(まとめテスト) [課題(復習)]まとめテストでできなかった所の復習(1～2h)						
時間外での学修	[課題(予習)][課題(復習)]として示した内容を、()の標準学修時間をめどとして取り組みましょう。教科書以外の問題集なども使い、各自で学修を進めてください。【この科目で求める望ましい時間外での総学修時間：30時間】						

受講学生への
メッセージ

この授業を通して、継続的に課題に取り組む学習習慣を身に付けてほしいです。自分自身の進路選択や就職対策スケジュールに合わせて、1年次～3年次までの必要な時期を選んで受講してください。
オフィスアワー：伊藤(A311)・小椋(A304)（授業で伝えます）

【9L5L207】就職試験対策演習 B		教養科目		1～3年後期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	小椋 博文・伊藤 和典						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業方法	テキストに基づいて予習し、授業時の確認テストで今後の学修課題を見つけます。さらに実践問題(公務員試験対策、SPI対策)の演習を行い解説を聞いて理解を深めます。受講学生の中からSA(スチューデント・アシスタント)が選定され、学修サポートを行います。実践問題は1回の授業で言語的分野、非言語的分野(資料解釈、数的処理、推理・推論)のうち2つに取り組みます。						
到達目標	知識・理解	専門分野を学ぶ基礎となり、社会人に教養として求められる知識を身につける。					
	思考・判断・表現	社会人に求められる資質としての思考力や判断力を身につける。					
	技能	社会人に求められる資質の1つとして、知的操作や知的技法の基礎を身につける。					
	関心・意欲・態度	自己の目標や状況に応じて、意欲を持って主体的に学修に取り組むことができる。					
	備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	この授業では、社会人として必要となる基礎的・汎用的能力や論理的思考力・創造力の基盤となる知識について、中等教育までに学修した内容の定着と深化を図ります。また、就職試験で必要となる内容についても、非言語分野・言語分野(資料解釈、数的処理、推理・推論)の演習問題に取り組み、実戦力を付けることが出来ます。就職対策のためには授業時間外学習も重要となるので、授業の内容も含めて自分なりの学修計画を立てることが必要です。多様な領域の課題に向き合って考え、継続的に取り組む力が身につく授業です。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	試験		30	10	5	-	45
	学修記録		10	10	5	5	30
	受講態度		-	5	5	15	25
	合計(点)		40	25	15	20	100
評価の特記事項	ICT活用						
アクティブ・ラーニングの活用	確認テストや演習問題の採点は自らで行い、自分自身の課題を学修記録で可視化して継続的な学びに役立てます。						
課題に対するフィードバック	自宅で学修してきた内容について、毎回確認テストを実施し、学修内容の定着を目指します。						
テキスト	『筆記試験対策ベーシックドリル 一般常識&SPI』就職試験研究グループ[著] 実教出版(1,320円) ISBN:978-4-407-34941-2						
参考書・教材	授業で指示します。その他必要な資料は配付します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	オリエンテーション:学習の進め方や教材、就職試験(公務員・SPI)について SAの説明 基礎確認テスト [課題(復習)]基礎確認テストでできなかった所の復習(1~2h)						
2	予習範囲:四字熟語・数と式 演習問題(非言語分野・言語分野) [課題(予習/復習)]今回の学修内容(国語・数学・演習)(1~2h)						
3	予習範囲:四字熟語・数と式 演習問題(非言語分野・言語分野) [課題(予習/復習)]今回の学修内容(国語・数学・演習)(1~2h)						
4	予習範囲:社会問題・数と式 演習問題(非言語分野・言語分野) [課題(予習/復習)]今回の学修内容(社会・数学・演習)(1~2h)						
5	予習範囲:社会問題・文学史 演習問題(非言語分野・言語分野) [課題(予習/復習)]今回の学修内容(社会・国語・演習)(1~2h)						
6	予習範囲:方程式と不等式・経済 演習問題(非言語分野・言語分野) [課題(予習/復習)]今回の学修内容(数学・社会・演習)(1~2h)						
7	予習範囲:方程式と不等式・金融・財政 演習問題(非言語分野・言語分野) [課題(予習/復習)]今回の学修内容(数学・社会・演習)(1~2h)						
8	予習範囲:方程式と不等式・企業・経営 演習問題(非言語分野・言語分野) [課題(予習/復習)]今回の学修内容(数学・社会・演習)(1~2h)						
9	予習範囲:(英語)熟語・国際経済 演習問題(非言語分野・言語分野) [課題(予習/復習)]今回の学修内容(英語・社会・演習)(1~2h)						
10	予習範囲:英会話表現・思想・宗教 演習問題(非言語分野・言語分野) [課題(予習/復習)]今回の学修内容(英語・社会・演習)(1~2h)						
11	予習範囲:慣用表現・単位・陰暦の呼称/環境 演習問題(非言語分野・言語分野) [課題(予習/復習)]今回の学修内容(国語・社会・演習)(1~2h)						
12	予習範囲:敬語表現・手紙の書き方/福祉 演習問題(非言語分野・言語分野) [課題(予習/復習)]今回の学修内容(国語・社会・演習)(1~2h)						
13	予習範囲:情報1/比と割合、平均 演習問題(非言語分野・言語分野) [課題(予習/復習)]今回の学修内容(情報・数学・演習)(1~2h)						
14	予習範囲:情報2/文章照合 演習問題(非言語分野・言語分野) [課題(予習/復習)]今回の学修内容(情報・SPI・演習)(1~2h)						
15	試験(まとめテスト) [課題(復習)]まとめテストでできなかった所の復習(1~2h)						
時間外での学修	[課題(予習)][課題(復習)]として示した内容を、()の標準学修時間をめどとして取り組みましょう。教科書以外の問題集なども使い、各自で学修を進めてください。【この科目で求める望ましい時間外での総学修時間:30時間】						

受講学生への メッセージ	"この授業を通して、継続的に課題に取り組む学習習慣を身に付けてほしいです。自分自身の進路選択や就職対策スケジュールに合わせて、1年次～3年次までの最適な時期を選んで受講してください。 オフィスアワー：小椋(A304)・伊藤(A311)（授業で伝えます）
-----------------	---

【9L5L2051】社会活動演習（幼児教育学科）	教養科目		1～3年通年			
	1単位	選択	演習	30時間		
教員	光井 恵子					
資格・制限等	特になし					
実務家教員						
授業方法	活動参加活動及び振り返りの実施					
到達目標	知識・理解	社会の課題に気付き、適切に判断・行動することができる。				
	思考・判断・表現	学びの集積を自覚し、統合し活用することができる。				
	技能	さまざまな価値観に対応できる柔軟性を身につける。				
	関心・意欲・態度	社会に貢献する使命感と責任感をもって、積極的に行動することができる。				
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達指標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	地域及び学内で行われる社会活動(こども祭、みずき祭等や本学の環境整備活動、保育関係の学会・研修会、シンポジウム等)に参加活動し振り返りを行う。主体的・対話的で深い学びを促進する状態での学修を積極的に行い、ICTを活用した双方向型授業や自主学習支援等も必要に応じて実施する。					
観点別評価	評価の観点					
	評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	提出物(ポートフォリオ)	10	10	10	40	70
	レポート	10	10	10	-	30
	合計(点)	20	20	20	40	100
評価の特記事項	ポートフォリオとレポート提出で評価する。					
ICT活用	Google Classroomを活用し、社会活動の情報を配信していく。					
アクティブ・ラーニングの活用	活動への準備や振り返りの中において、グループワークやプレゼンテーションを取り入れていく。					
課題に対するフィードバック	活動後のレポート及び振り返りにより、個別に返答、もしくは全体の場でフィードバックを行う。					
テキスト						
参考書・教材	必要に応じて配布					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	3年間において、下記のいずれかの社会活動に30h以上参加をし、発表、討論を通じて問題解決型の学修をする。かつ、その活動におけるポートフォリオの提出と総合的にまとめたレポートの提出で単位を認定する。 (1)地域や学内で行われる行事等や活動への参加 (2)環境整備活動 (3)学会・研修会・シンポジウム等への参加					
時間外での学修	社会活動演習の種類によって、事前準備・学修が必要になってきます。詳細については、担当教員より連絡があります。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】					
受講学生へのメッセージ	社会活動に積極的に参加することによって、大学で学ぶ知識や技術を統合し、主体的・協同的な姿を備えた保育者になることを目的としています。活動に応じて担当者が異なりますので、オフィスアワーの時間帯については、アカデミックアドバイザーに尋ねてください。					

【9L5L2052】社会活動演習（デザイン美術学科）		教養科目		1～2年通年			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	田中 久志						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業方法	学内・学外での活動に参加し、その内容について指定された用紙に記載していきます。グループワークなど、能動的な学び（アクティブラーニング）を前提とした方法も取り入れていきます。授業内容によっては、ZOOMによる遠隔授業や、ICTを活用した課題提出と、そのフィードバックなども双方向で行います。						
到達目標	知識・理解	社会の一員としての知識、社会的活動の意義を理解できる。					
	思考・判断・表現	社会の一員として、ボランティア活動に必要な考えを持ち、行動することができる。					
	技能	身に付けた技能を社会のために活かすことができる。					
	関心・意欲・態度	探究心を持ち、自ら他者の手助けをする意思を持ち、行動することができる。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	短大及び地域で行われる社会活動や、本学が認める地域でのボランティア活動、デザイン・美術関係の学会・研修会に参加・活動し、社会活動記録ノートを作成する。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	社会活動		30	20	20	10	80
	社会活動記録ノート		-	-	-	20	20
	合計(点)		30	20	20	30	100
評価の特記事項	社会活動記録ノートは必須です。フィードバックとして社会活動記録ノートについて確認し、コメントします。						
ICT活用	学生ポータルやメールでの質問を受け付け、返答します。						
アクティブラーニングの活用	グループワーク、グループディスカッション等により、自他の活動についての考察を行う。						
課題に対するフィードバック	担当教員が当該社会活動について学生に聞き取りをし、内容にコメントします。						
テキスト							
参考書・教材	なし						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	<p>2年間に於いて、下記のいずれかの社会活動に15回相当以上参加し、そのレポートを提出することで単位を認定します。</p> <p><社会活動の内容> (30h)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本学もしくは学科の主催・共催・協賛等により、各種団体と行う展示や活動への参加 2. 県や市町村等の主催する社会的活動への参加 3. 各種団体主催のボランティア活動への参加 4. 地域や学内で行われる行事や活動への参加 5. 小・中・高等学校等での指導や補助 6. 自主的な清掃活動 7. その他教員が推奨する社会的活動等 <p><報告書の提出> (15h)</p> <p>社会活動後、3週間以内に社会活動記録ノートをチューターに提出してください。 * 上記以外の活動に参加する場合は、社会活動演習として認められるか、事前にチューターを通して確認してください。</p>						
時間外での学修	学外活動に参加する場合は、学内の掲示板や地域の情報誌などを利用して情報収集をしましょう。また、社会活動記録ノート提出の期日が過ぎるとその活動が無効になり、評価できません。提出期限を守りましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30時間】						
受講学生へのメッセージ	社会活動やボランティア等の意義を理解し、積極的に参加してください。オフィスアワーは、各学年のクラスチューターの時間になります。						

【9L5L2053】社会活動演習（音楽総合学科）		教養科目		1～2年通年			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	松永 幸宏						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業方法	様々な活動に参加し、活動内容のレポートを提出する						
到達目標	知識・理解	ボランティア活動等の意義を理解し、活動内容のレポートを正確に作成することができる					
	技能	専門分野において身につけた技能、知識を発揮し活動することができる					
	関心・意欲・態度	各活動に積極的に参加することができる					
授業内容	地域で行われる社会活動、ボランティア活動に参加する他、学校関係、イベント等での演奏に参加しレポートを提出する						
観点別評価		評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	レポート		30	-	-	-	30
	社会活動		-	-	30	40	70
	合計(点)		30	-	30	40	100
評価の特記事項	ICT活用						
アクティブ・ラーニングの活用	グループディスカッション						
課題に対するフィードバック	レポートにコメントを記す						
テキスト							
参考書・教材							
	内容						
実施回	授業内容・目標						
1～15	2年間で下記活動等に10回以上参加し(1回2h)その都度レポート(1回1h)を提出する 社会活動内容 ・各種団体主催のイベント ・児童施設、高齢者施設等でのボランティア活動 ・小学校等での演奏 ・地域行事への参加 etc.						
時間外での学修	参加前に各活動内容を把握して下さい 【この科目で求める望ましい授業時間外での総学修時間：30～40時間】						
受講学生へのメッセージ	レポートは必ず提出して下さい オフィスアワーは各アカデミックアドバイザーの指定時間、場所となります						

【9L5L2054】社会活動演習（歯科衛生学科）	教養科目		1～3年通年			
	1単位	選択	演習	30時間		
教員	松下 健二					
資格・制限等	特になし					
実務家教員						
授業方法	学内・学外での活動に参加し、その内容について指定された用紙に記載していきます。					
到達目標	知識・理解	社会人に求められる社会変化への対応や地域への貢献などに必要な知識を身につけることができる。				
	技能	社会人に必要なコミュニケーション能力や社会生活の基本となる技能についてその基礎を身につけることができる。				
	関心・意欲・態度	学修内容に興味や関心を持ち、見通しをもって主体的、意欲的に取り組む事ができる。				
授業内容	短大及び地域で行われる社会活動や、本学が認める地域でのボランティア活動、歯科医学関係の学会・研修会、地域保健活動に参加・活動し、社会活動演習日誌を作成する。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	社会活動演習日誌内容	42	-	42	-	84
	社会活動演習日誌提出状況	-	-	-	16	16
	合計(点)	42	-	42	16	100
評価の特記事項	社会活動演習日誌内容の84%は *7点(1回)×12回(A:7点 B:6点 C:5点)で評価します。実施日より3週間以上経過して日誌を提出した場合には減点します。					
ICT活用	活動計画・情報取得に使用します。					
アクティブ・ラーニングの活用	活動自体が自ら社会性を学ぶ科目です。					
課題に対するフィードバック	提出後に、アカデミック・アドバイザーが内容をチェックしコメントします。					
テキスト	なし					
参考書・教材	なし					

内容	
実施回	授業内容・目標
通年	<p>歯科衛生学科3年間で、(1)学内活動 (2)学外活動の2分野において社会活動演習を行います。活動合計時間数が30h以上になること</p> <p>(1)学内活動・・・3年間で7回以上参加（内容によって参加学年・人数を限定することがあります。） 該当行事：FSC(ファーストステップキャンパス) みずき祭(前夜祭と本番で1回) 研修旅行(2年生) オープンキャンパスサポーター その他(その他の行事予定はその都度、掲示などで連絡します。)</p> <p>(2)学外活動・・・3年間で5回以上参加(内容によって参加学年・人数を限定することがあります。) 該当行事：十萬石まつりなどの地域で開催されている行事へのボランティア活動 その他のボランティア活動(歯科衛生学科長が認めたもの) 該当研修会・学会：日本歯科衛生士会・岐阜県歯科衛生士会主催の学会・研修会 日本歯科医師会・岐阜県歯科医師会主催の学会・研修会 教員が推奨する各種学会・研修会 学会等の予定はその都度掲示などで連絡します。 上記以外の活動に参加する場合は、社会活動演習として認められるか、事前にアカデミック・アドバイザーを通して確認してください。</p> <p>注意事項：[課題(他)] 上記活動に参加後、3週間以内に社会活動演習日誌をアカデミック・アドバイザーへ提出してください。作成時間数：1回の活動につき1h以上) 原則、日誌は実施後から1か月以内の提出とします。 実施日より3週間を経過して日誌を提出した場合には減点対象となります。 日誌提出後、所定欄にアカデミック・アドバイザーより検印をもらおうと社会活動として認定されます。</p>
時間外での学修	<p>学外活動に参加する場合は、学内の掲示板や地域の情報誌などを活用して情報収集をしましょう。また、日誌提出の期日が過ぎるとその活動が無効になり、評価できません。提出期限を守りましょう。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】</p>
受講学生へのメッセージ	<p>地域に貢献できるような活動への参加を期待します。主体的に取り組んでください。オフィスアワーは、各学年のアカデミック・アドバイザーの指定する時間になります。</p>